



Fast PServer/PServer

取扱説明書

<http://www.corega.co.jp>

安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときは
さわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所
注意

交流 100V の電源でお使いください

異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



電圧注意

付属の AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の AC アダプターを使用してください



付属品を
使え

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。



傷つけない

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80% 以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュタンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはいないに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る
使用

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学そうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

0 はじめに

この度は、「corega Fast PServer/PServer」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧頂けるように、保証書とともに、大切に保管くださいますようお願いいたします。

0.1 パッケージの内容物をご確認ください

本製品のパッケージの内容は、次の通りです。（他に添付紙が同梱されている場合があります。）お買い上げの商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- ・「corega Fast PServer」または「corega PServer」本体
- ・ AC アダプター
- ・ 3.5 インチフロッピーディスク 3 枚
（「corega PS Admin program」 Disk2 枚、Unsupported Disk1 枚）
- ・ 本取扱説明書（保証書つき）
- ・ シリアル番号シール

0.2 本書の構成

この取扱説明書は、次の図に示すような構成になっています。

●必ずお読みください

本製品の概要や、ネットワークへの接続手順を説明しています。この説明を必ずお読みいただき、プリンタやネットワークに正しく接続してから本製品をご使用ください。

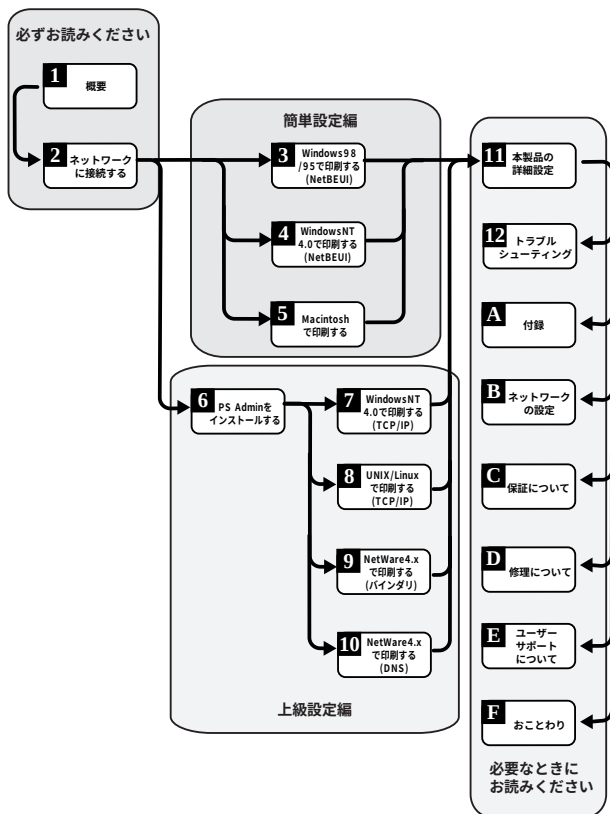
●簡単設定編＜本製品をすぐにお使いになりたい方は＞

Windows98/95、WindowsNT、Macintoshをお使いの方は、本製品をプリンタやネットワークに接続した後、3～5章の説明に従ってプリンタの設定を行うと、本製品をすぐに使用することができます。本製品は、工場出荷時の設定のままで使用できますので、本製品の設定を変更する必要はありません。

●上級設定編＜ご使用のネットワーク環境に合わせて本製品の設定を変更して使用する＞

本製品の設定変更ツール「PS Admin」をインストールすると、お使いのネットワーク環境に

合わせて本製品の設定を変更することができます。6 章の手順に従って、「PS Admin」をインストールした後、7 ～ 10 章の中から、お使いの OS やネットワークプロトコルに該当する章の説明をお読みください。



目次

0	はじめに	4
0.1	パッケージの内容物をご確認ください	4
0.2	本書の構成	4
1	概要	9
1.1	本製品の特長	9
1.2	動作環境	9
1.3	各部の名称と働き	10
2	ネットワークに接続する	11
2.1	接続手順	11
2.2	本製品をご使用の際の注意事項	12
3	Windows98/95 で印刷する (NetBEUI)	13
3.1	ネットワーク設定を確認する	14
3.2	プリンタを追加する	16
4	WindowsNT4.0 で印刷する (NetBEUI を利用する)	20
4.1	ネットワーク設定を確認する	21
4.2	プリンタを追加する	22
5	Macintosh で印刷する	25
5.1	プリンタを選択する	25
6	PS Admin をインストールする	27
6.1	PS Admin をインストールする前に	27
6.1.1	Windows98/95 をご使用の場合	27
6.1.2	WindowsNT4.0 をご使用の場合	28
6.2	PS Admin のインストール	29
6.2.1	準備するもの	29
6.2.2	インストール手順	30
6.3	本製品のサーバ名とポート名、印刷キュー名	32
6.4	PS Admin を起動する	32
6.4.1	サーバ名、ポート名などの設定を確認する	32
6.4.2	パスワードを設定する	34
6.4.3	テストプリント機能	36
7	WindowsNT4.0 で印刷する (TCP/IP を利用する)	38
7.1	ネットワーク設定を確認する	39
7.2	本製品の設定を確認する	41
7.3	プリンタを追加する	43
8	UNIX/Linux で印刷する (TCP/IP プロトコルを利用する)	48
8.1	本製品の設定をする	49
8.1.1	UNIX/Linux から本製品の IP アドレスを設定する	49
8.2	UNIX/Linux でのプリンタの設定	50

9	NetWare4.xで印刷する（バイナリモード）	52
9.1	NetWare プリントサーバとして本製品の設定を行う	53
9.2	NetWare リモートプリンタとして、本製品を設定する	58
9.3	Windows98/95 クライアントから印刷する	60
9.3.1	プリンタの追加	60
9.3.2	NetWare キューサービスの設定	63
10	NetWare4.xで印刷する（NDS モード）	65
10.1	NetWare プリントサーバとして本製品の設定を行う	66
11	本製品の詳細設定	73
11.1	メインウィンドウ	73
11.2	本製品のサーバ名とポート名の変更	76
11.3	フィルタースtringの定義	79
11.4	環境設定ファイルについて	81
11.4.1	環境設定ファイルの保存	81
11.4.2	「初期設定」を変更する	82
11.5	NetBEUI の環境設定	85
11.6	「AppleTalk」の環境設定	86
11.6.1	「AppleTalk ゾーン」の設定	86
11.6.2	プリンタポートの設定変更	87
11.7	「プリンタステータス」の確認	88
11.8	「NetWare プリントジョブ」の管理	90
11.9	「NetWare」の環境設定とファイルの管理	93
11.9.1	「プリントキュー」の管理	93
11.9.1.1	プリントキューの定義	93
11.9.1.2	プリントキューの削除	94
11.9.1.3	プリントキューの割り当て	94
11.9.2	「プリンタ」の管理	97
11.9.2.1	プリンタへのログイン	98
11.9.2.2	プリントキューの割り当て	99
11.9.3	「プリントサーバ」の管理	101
11.9.3.1	プリントサーバへのログイン	101
11.9.3.2	プリントサーバの削除	103
11.9.3.3	プリンタ情報の割り当て	103
11.10	プリントサーバのリセット	106
11.10.1	「リセット」	106
11.10.2	「ファクトリリセット」	107
11.11	本製品のファームウェアの更新	107
11.11.1	更新を実行するまえに	107
11.11.2	本製品にファームウェアをダウンロードする	108
12	トラブルシューティング	110
12.1	「デバイス診断」を実行する	110
A	付録	113
A.1	製品仕様	113
A.2	ネットワークインターフェース	114
A.3	プリンタインターフェース	114
A.4	MAC アドレス	116

B	ネットワークの設定	117
B.1	Windows98/95 でプロトコルを追加する	117
B.2	WindowsNT で「サービス」または「プロトコル」を追加する	119
C	保証について	122
D	修理について	122
E	ユーザーサポートについて	122
E.1	corega 製品の情報を知りたいときには	123
E.2	調査依頼書のご記入のお願い	123
F	おことわり	124

1 概要

corega Fast PServer/PServer（以下、本製品またはネットワークプリントサーバと略記）は、ネットワーク上のコンピュータから、本製品に接続したプリンタへの出力を可能とするネットワークプリントサーバです。本製品は、NetBEUI、AppleTalk、TCP/IP、IPX/SPX の 4 種類のプロトコルに対応していますので、異なるネットワーク OS を使用しているパソコンからも本ネットワークプリントサーバを利用することができます。また、本製品に対する設定は、付属の設定変更ツール「corega PS Admin Program」から簡単に行うことができます。

1.1 本製品の特長

本製品の特長は、次の通りです。

- IEEE 802.3 10BASE-T Ethernet または IEEE 802.3u 100BASE-TX Fast Ethernet（Fast PServer のみ）規格準拠
- RJ-45 コネクタによるネットワーク接続が可能
- アンフェノール 36 ピンパラレルポートを装備し、プリンタへの直接接続が可能
- 付属の「corega PS Admin Program」で本製品の設定変更が可能
- 複数のプロトコル（NetBEUI、AppleTalk、TCP/IP、IPX/SPX）対応なので、異なるネットワーク OS を使用したパソコンから利用可能

1.2 動作環境

●対応プロトコル

NetBEUI、AppleTalk（EtherTalk）、TCP/IP、IPX/SPX

●対応 OS

Windows98/95、Windows NT4.0、MacOS7.6 以上、UNIX



注意

付属の「corega PS Admin Program」は、Windows98/95 または Windows NT4.0 のみの対応となります。

1.3 各部の名称と働き

「図 1.3.0.1 外観図（背面）」 本製品の主要部分の名称と機能を説明します。

①プリンタポート

本製品の前面にプリンタポートがあります。本ポートを接続するプリンタの平行ポートに直接接続します。

②ネットワークポート

ネットワークポートに、ツイストペアケーブルの RJ-45 コネクタを挿入し、ネットワークに接続します。

③ DC ジャック

本製品に付属の AC アダプターの DC プラグを接続します。

④ステータスランプ

・ Pw/Tx ランプ（緑）

本製品の電源が ON になると点灯します。

ネットワークと本製品が正しく接続され、パケットデータの送信が行われている場合に点滅します。

・ Lk/Rx ランプ（緑）

ネットワークにリンクしているときに点灯します。

ネットワークと本製品が正しく接続され、パケットデータの受信が行われている場合に点滅します。

・ LPT ランプ（緑）

プリンタポートからプリントデータを出力している場合に点灯します。

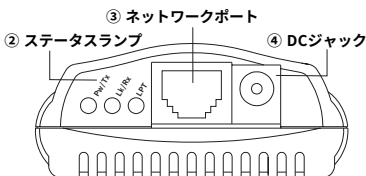


図 1.3.0.1 外観図（背面）

2 ネットワークに接続する

2.1 接続手順

次に示す手順に従って、本製品をプリンタおよびネットワークに接続してください。

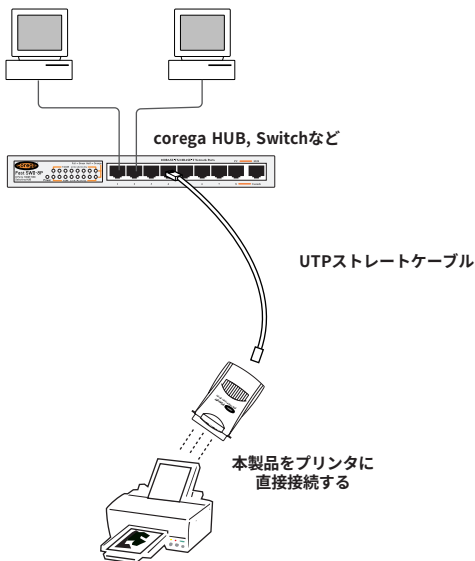


図 2.1.0.1 本製品の接続例

- (1) 本製品を接続するプリンタの電源を OFF にしてください。
- (2) 本製品をプリンタの平行ポートに、直接接続します。



本製品は、プリンタのポートに直接、接続してください。

プリンタケーブルを使用した接続はできません。

本製品をプリンタに接続する場合、プリンタの電源はOFFにしてください。

- (3) 本製品のネットワークポートにUTPストレートケーブルのRJ-45コネクタを接続し、ケーブルのもう一方のコネクタをネットワークに接続します。(「図 2.1.0.1 本製品の接続例」(p.11) では、ハブまたはスイッチのポートに接続します。)
UTPストレートケーブルは、10BASE-T の場合、カテゴリ 3 以上のものを、100BASE-TX の場合は、カテゴリ 5 のケーブルを使用します。



コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

- (4) プリンタの電源を ON にします。
- (5) 本製品の DC ジャックに AC アダプターのプラグを挿入し、AC アダプターを電源に接続します。

2.2 本製品をご使用の際の注意事項

本製品は、双方向通信機能を使用した印刷方式には対応していません。ご使用のプリンタの双方向通信機能は使用しないでください。

また、WPS (Microsoft Windows Printing System) モードでは使用できませんので、WPS 対応プリンタを使用する場合は、WPS モードを使用しないでください。WPS モードを使用しない場合のプリント出力方法および設定方法につきましては、ご使用のプリンタのマニュアルをご覧ください。

プリンタやネットワークへの接続が完了したら、次の章に進んでください。

- ・ 本製品の設定を変更せずに、Windows 98/95、WindowsNT、Macintosh からすぐに印刷したい場合 → 簡単設定編の 3 ～ 5 章の中から、ご使用の OS の章に進む
- ・ ご使用のネットワーク環境に合わせて、本製品の設定を変更して使いたい場合 → 上級設定編の第 5 章から第 10 章の中から、ご使用の OS やネットワークプロトコルにあった章に進む

3 Windows 98/95 で印刷する (NetBEUI)

この章では、Windows98/95 から Microsoft ネットワーク (NetBEUI プロトコル) を利用して印刷する手順について説明します。

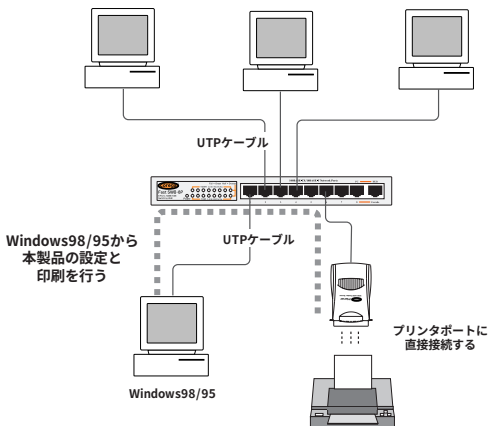


図 3.0.0.1 ネットワーク構成例

説明の中では、本製品のサーバ名などを下記の通りに仮定して説明しています。工場出荷時の設定では、サーバ名などには、本製品の MAC アドレスの下 6 桁が使用されています。本製品裏面に記載されている MAC アドレスをメモし、その値に読み替えてください。

● MAC アドレスが「009099 0FA000」の場合

- ・サーバ名 : PS-0FA000
- ・ポート名 : PS-0FA000-P1
- ・ネットワークパス : \\PS-0FA000\\PS-0FA000-P1



この情報は、18 ページのプリンタ追加の手順 (4) 「ネットワークパスまたはキューの名前」の入力で必要となりますので、ご注意ください。

ここでは、Windows98 へのインストール手順を例に説明します。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

3.1 ネットワーク設定を確認する

ご使用のパソコンで、NetBEUI プロトコルによる Microsoft ネットワーク通信ができる状態であることを確認し、必要な場合には、ネットワークの設定を行います。



既に、ご使用のパソコンを NetBEUI プロトコルによる Microsoft ネットワーク通信でご使用の場合には、次に進んでください。

- (1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし、「ネットワークの設定」タブを表示します。
- (2) 「現在のネットワークコンポーネント」(Windows95 の場合は、「現在のネットワーク構成」) に次の 3 つのコンポーネントが含まれていることを確認します。
 - Microsoft ネットワーククライアント
 - お使いのネットワークアダプター
(NetBEUI にバインドされている必要があります)
 - NetBEUI (または「NetBEUI→ご使用のネットワークアダプター」)
(Microsoft ネットワーククライアントにバインドされている必要があります)

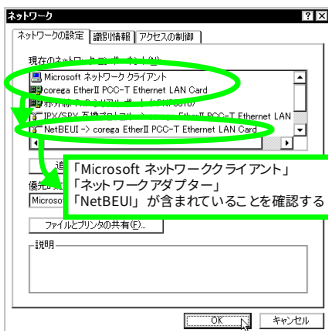


図 3.1.0.1 「現在のネットワーク構成」を確認

バインドされているかどうかは、それぞれの「プロパティ」の「バインド」で確認することができます。

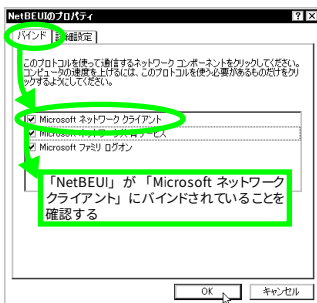


図 3.1.0.2 「NetBEUIのプロパティ」の「バインド」タブを確認

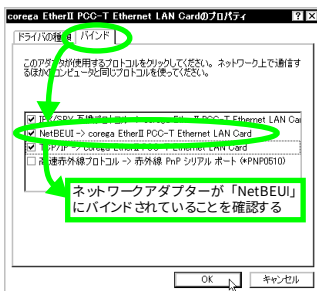


図 3.1.0.3 「ご使用のネットワークアダプターのプロパティ」の「バインド」を確認

- (3) 「現在のネットワークコンポーネント」(Windows95 の場合は、「現在のネットワーク構成」)に「Microsoft ネットワーククライアント」または「NetBEUI」が含まれなかった場合には、「B.1 Windows98/95 でプロトコルを追加する」(p.117)を参照してそれぞれを追加してください。
- (4) 「現在のネットワークコンポーネント」(Windows95 の場合は、「現在のネットワーク構成」)にご使用のネットワークアダプターが含まれなかった場合には、ネットワークアダプターの取扱説明書に従い正しくセットアップしてください。

3.2 プリンタを追加する

ネットワーク設定を確認した後、「プリンタの追加ウィザード」で、本製品に接続されたプリンタを利用したいパソコンにプリンタを追加します。

プリンタを追加する前に、本製品が正しくネットワークに接続されていることを確認してください。ご使用のプリンタによっては、ドライバファイルを、予めインストールしておく必要があるものがあります。(例：Canon BJ F600 など)

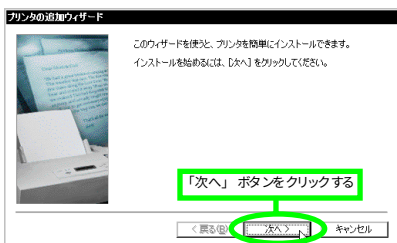


ご使用のプリンタのインストール手順については、プリンタのマニュアルを参照するか、プリンタメーカーにお問い合わせください。

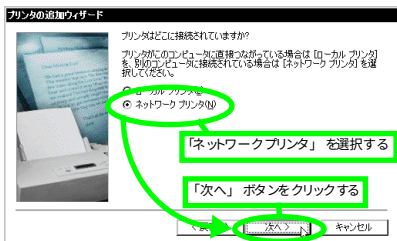
- (1) 「マイコンピュータ」→「プリンタ」アイコンをクリックし、「プリンタ」ウィンドウの「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。



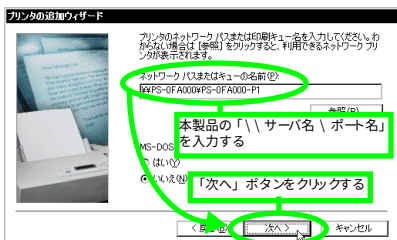
- (2) 「プリンタの追加」ウィザードが起動します。



- (3) プリンタの接続先で、「ネットワークプリンタ」をチェックします。



- (4) 「ネットワークパスまたはキューの名前」を入力します。



「ネットワークパス」は、「\\ サーバ名 \ ポート名」で示します。

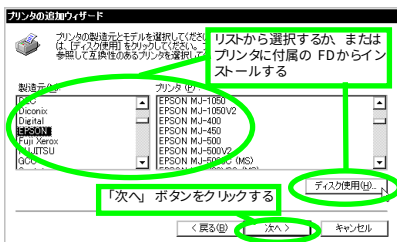


本製品のサーバ名、ポート名は工場出荷時の設定のまま使用することができますが、変更したい場合などは、「11.2 本製品のサーバ名とポート名の変更」(p.76)を参照してください。

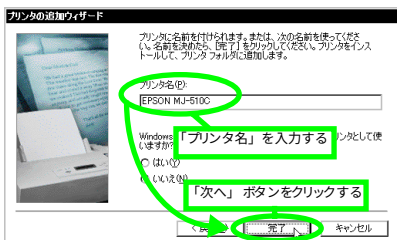


MS-DOS アプリケーションから印刷する場合は、プリンタポートの割り当てを行います。

- (5) ご使用になるプリンタのドライバーをインストールします。



(6) 「プリンタ名」を設定します。



ここで入力した名前で「プリンタ」アイコンが作成されますので、分かりやすい名前にしてください。

(7) プリンタの追加は完了です。

4 Windows NT 4.0 で印刷する (NetBEUIを利用する)

この章では、Windows NT ワークステーションから Microsoft ネットワーク（NetBEUI プロトコル）を利用して印刷する手順について説明します。

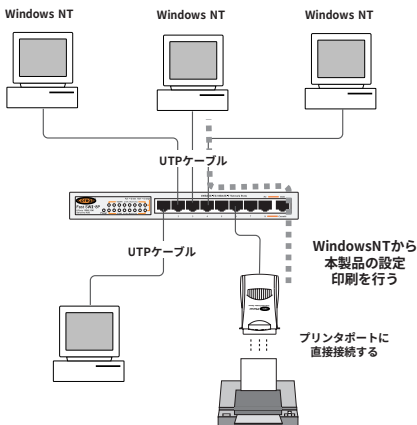


図 4.0.0.1 ネットワーク構成例

説明の中では、本製品のサーバ名などを下記の通りに仮定して説明しています。工場出荷時の設定では、サーバ名などには、本製品の MAC アドレスの下 6 桁が使用されています。本製品裏面に記載されている MAC アドレスをメモし、その値に読み替えてください。

● MAC アドレスが「009099 0FA000」の場合

- ・サーバ名 : PS-0FA000
- ・ポート名 : PS-0FA000-P1
- ・ネットワークパス : \\PS-0FA000\\PS-0FA000-P1



この情報は、23 ページのプリンタ追加の手順 (3) 「ネットワークパスまたはキューの名前」の入力で必要となりますので、ご注意ください。



ここでは、WindowsNT Workstation へのインストール手順を例に説明します。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

4.1 ネットワーク設定を確認する

ご使用のパソコンで、NetBEUI プロトコルによる Microsoft ネットワーク通信ができる状態であることを確認し、必要な場合には、ネットワークの設定を行います。



既に、ご使用のパソコンを NetBEUI プロトコルによる Microsoft ネットワーク通信でご使用の場合には、次に進んでください。

- (1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし、「プロトコル」タブを表示します。
- (2) 「ネットワークプロトコル」に「NetBEUI」プロトコルが含まれていることを確認します。

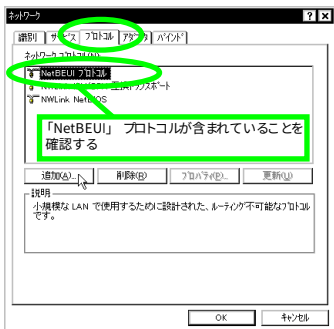


図 4.1.0.1 「現在のネットワーク構成」を確認

- (3) 「ネットワークプロトコル」に「NetBEUI」が含まれなかった場合には、「B.2 WindowsNT で「サービス」または「プロトコル」を追加する」(p.119)を参照してそれぞれを追加してください。

4.2 プリンタを追加する

ネットワーク設定を確認した後、「プリンタの追加ウィザード」で、本製品に接続されたプリンタを利用したいパソコンにプリンタを追加します。

プリンタを追加する前に、本製品が正しくネットワークに接続されていることを確認してください。ご使用のプリンタによっては、ドライバファイルを 予めインストールしておく必要があるものがあります。（例：Canon BJ F600 など）

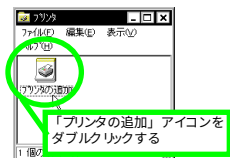


ご使用のプリンタのインストール手順については、プリンタのマニュアルを参照するか、プリンタメーカーにお問い合わせください。

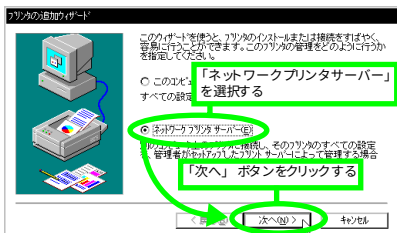


ここでは、WindowsNT Workstation へのインストール手順を例に説明します。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

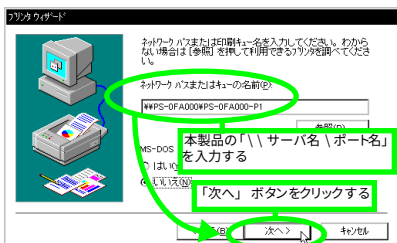
- (1) 「マイコンピュータ」→「プリンタ」アイコンをクリックし、「プリンタ」ウィンドウの「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。



- (2) 「プリンタの追加」ウィザードが起動します。「ネットワークプリンタサーバ」を選択します。



- (3) 「ネットワークパスまたはキューの名前」に「\\サーバ名 \ポート名」を入力します。



「ネットワークパス」は、「\\サーバ名 \ポート名」で示します。

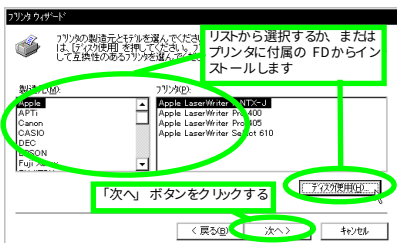


本製品のサーバ名、ポート名は工場出荷時の設定のまま使用することができますが、変更したい場合などは、「11.2 本製品のサーバ名とポート名の変更」(p.76)を参照してください。

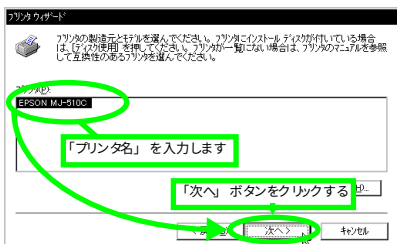


MS-DOS アプリケーションから印刷する場合は、プリンタポートの割り当てを行います。

- (4) ご利用になるプリンタのドライバーをインストールします。



- (5) 「プリンタ名」を設定します。



ここで入力した名前で「プリンタ」アイコンが作成されますので、分かりやすい名前にしてください。

- (6) プリンタの追加は完了です。

5 Macintosh で印刷する

この章では、Macintosh から AppleTalk ネットワークプロトコルを利用して印刷する手順について説明します。

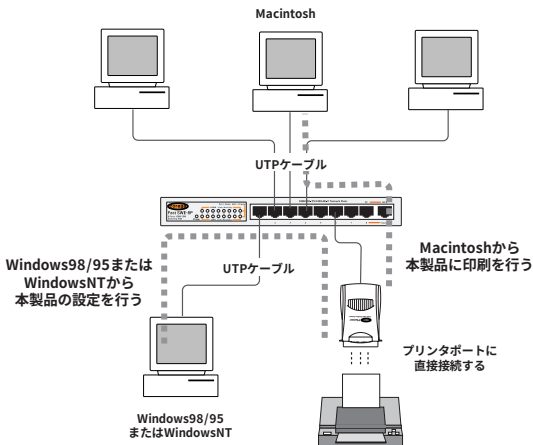


図 5.0.0.1 ネットワーク構成例

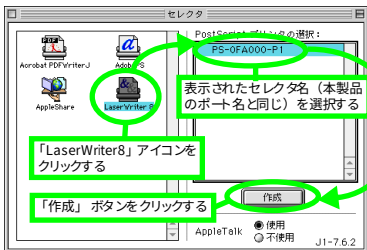
5.1 プリンタを選択する

MacOS 搭載パソコンで、通常使用するプリンタとして、本製品に接続した PostScript プリンタを選択します。

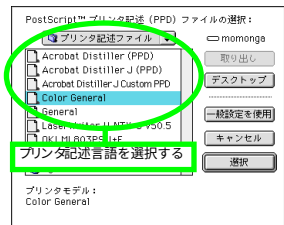


PostScript プリンタを選択するための手順は、ご使用のプリンタドライバのバージョンによって多少異なることがあります。次の手順では、MacOS の最近のバージョンに含まれる「Laser Writer 8」プリンタドライバを使用していると仮定します。

- (1) Appleメニューから「セレクト」を選択します。
- (2) 「Laser Writer 8」アイコンをクリックします。



- (3) 予め、通常使用するプリンタとして、ご使用のプリンタがセットされていない場合は、PostScript プリンタ記述言語設定に関するウィンドウが表示されます。使用するプリンタに対して、適切なプリンタ記述言語を選択してください。



ご使用のプリンタが表示されない場合は、「一般設定」をクリックし、一般的なプリンタ記述ファイルを使用します。設定を変更したい場合は、「セレクト」ウィンドウ内の「再設定」ボタンを使用してください。

6 PS Admin をインストールする

PS Admin は、本製品の詳細設定（サーバ名やポート名の変更、プロトコルの設定など）やプリントキューの管理を行うための設定ツールプログラムです。PS Admin は、Windows 98/95 または Windows NT4.0 上で使用できます。



注意

PS Admin プログラムは、ネットワーク上の全てのパソコンにインストールする必要はありません。ネットワークに接続されているパソコンのうち、Windows98/95またはWindowsNTがインストールされているパソコン 1 台にインストールすれば、ネットワーク上に接続されている複数台の本製品を一元管理することができます。

6.1 PS Admin をインストールする前に

PS Adminをインストールして、本製品の設定や管理を行う場合には、必ず、PS Admin をインストールするパソコンのネットワーク環境を確認してください。ご使用の OS ごとに必要なプロトコルやサービスを追加する必要がありますので、インストールする前に、必ず次の内容を確認してください。

6.1.1 Windows98/95 をご使用の場合

Windows98/95 上で、PS Adminを使用する場合は、ネットワークの設定に必ず、「IPX/SPX 互換プロトコル」が必要です。「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし、「現在のネットワークコンポーネント」（Windows95 の場合は「現在のネットワーク構成」）に「IPX/SPX プロトコル」が含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、「B.1 Windows98/95 でプロトコルを追加する」（p.117）を参照して、「IPX/SPX プロトコル」を追加してください。

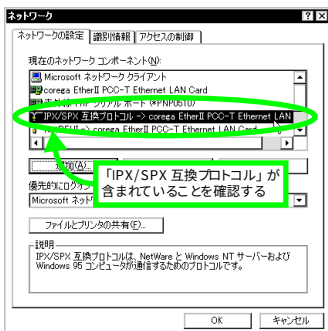


図 6.1.1.1 「ネットワーク」の設定を確認

6.1.2 WindowsNT4.0 をご使用の場合

WindowsNT4.0 上で、PS Admin を使用する場合は、ネットワークの設定に必ず、次のプロトコルおよびサービスが必要です。「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし、「ネットワーク」の「サービス」タブ、「プロトコル」タブを確認してください。含まれていない場合は、「B.2 WindowsNT で「サービス」または「プロトコル」を追加する」(p.119)を参照し、追加してください。

	WindowsNT Workstation	WindowsNT Server
必要なサービス	「Client Service for NetWare」	「Gateway Service for NetWare」
必要なプロトコル	「NWlink IPX/SPX 互換プロトコル」 「NWlink NetBIOS」	「NWlink IPX/SPX 互換プロトコル」 「NWlink NetBIOS」



図 6.1.2.1 ネットワークの「サービス」を確認 (WindowsNT Work Station の場合)

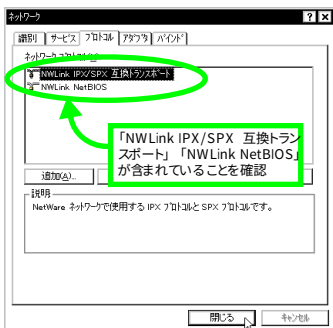


図 6.1.2.2 ネットワークの「サービス」を確認

6.2 PS Admin のインストール

6.2.1 準備するもの

インストールを始める前に、次のものが揃っていることを確認します。

- Windows98/95 または WindowsNT4.0がインストールされているパソコン
- 「corega PS Admin program」 フロッピーディスク 2 枚

6.2.2 インストール手順



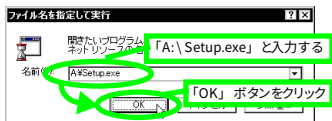
注意

ここでは、Windows98 へのインストール手順を例に説明します。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

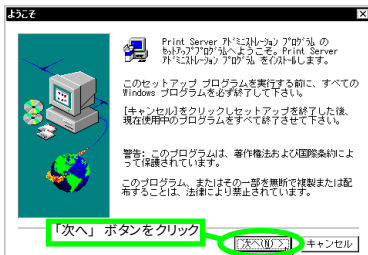
- (1) 「スタート」メニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択します。



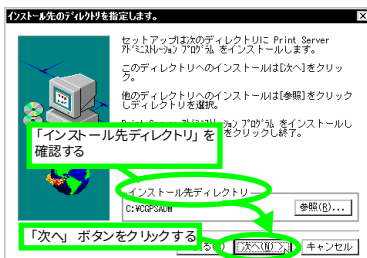
- (2) 「corega PS Admin program Disk 1」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「Setup.exe」を指定します。



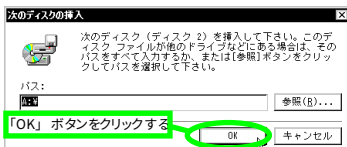
- (3) PS Admin のインストールプログラムが起動します。



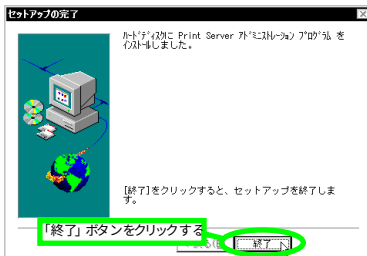
- (4) 「インストール先ディレクトリ」を確認します。



- (5) ダイアログの指示に従い、「corega PS Admin program Disk 2」をフロッピーディスクドライブに入れ換えます。



- (6) インストールが完了します。



6.3 本製品のサーバ名とポート名、印刷キュー名

ご使用のパソコンのネットワーク環境が整っている状態（NetBEUI、TCP/IP、IPX/SPX プロトコル環境でネットワーク通信ができる）で、初めて本製品をネットワークに接続したとき、本製品のサーバ名とポート名、プリンタキュー名は次のように設定されています。サーバ名とポート名には、本製品の MAC アドレス（本製品裏面に記載）の下 6 桁が使用されます。

[本製品の本体裏面に表記されている MAC アドレスが「009099 0FA000」の場合]

- ・ サーバー名：PS-0FA000
- ・ ポート名：PS-0FA000-P1
- ・ 印刷キュー名：\\PS-0FA000\\PS-0FA000-P1
(印刷キュー名は、「\\ サーバ名 \ ポート名」で構成されます)

本製品のサーバ名やポート名は、初期設定のままで使用することができます。ネットワーク上で管理しやすいように、本製品のサーバ名などの設定を変更したい場合は、「11.2 本製品のサーバ名とポート名の変更」(p.76)を参照してください。

6.4 PS Admin を起動する

6.4.1 サーバ名、ポート名などの設定を確認する

本製品をネットワークに接続し、PS Admin をインストールした後、初めて PS Admin を起動すると、本製品のサーバ名やポート名の初期設定を確認することができます。

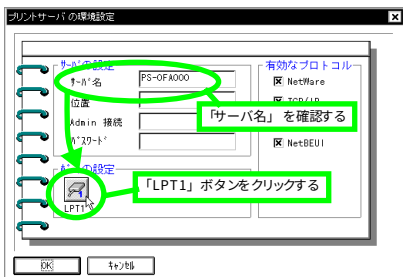
- (1) 「スタート」メニューから、「プログラム」→「corega PS Admin」→「corega PS Admin v1.10J」を選択します。



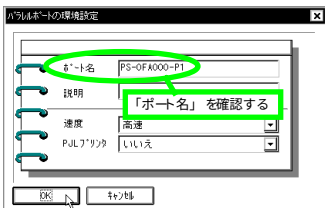
- (2) メインウィンドウが表示されたら、サーバ名を確認し、「環境設定」の「サーバデバイス」をクリックします。



- (3) サーバ名を確認し、「ポートの設定」の「LPT1」ボタンをクリックします。



- (4) 「ポート名」を確認します。



6.4.2 パスワードを設定する

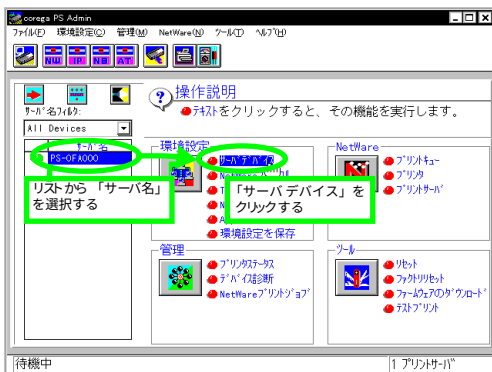
ネットワーク上の他の人から、本製品に対する設定を変更できないようにするために、パスワードを設定することができます。

パスワードを設定しなくても、本製品を利用することはできます。

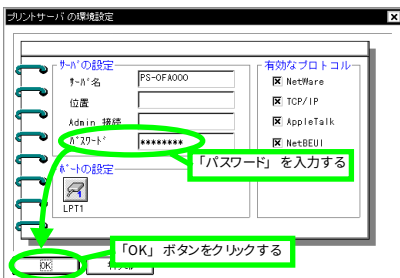


パスワードを忘れた場合、PS Admin を使用した本製品の設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするためには、コレガサポートセンターに修理を依頼する必要があります。

- (1) メインウィンドウの「環境設定」グループから「サーバデバイス」ショートカットをクリックします。

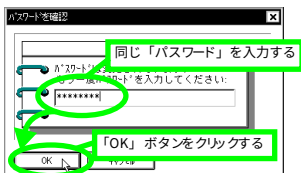


- (2) 「パスワード」テキストボックスにパスワードを入力します。



入力したパスワードは、「*」で表示されます。

- (3) 確認のために、再度パスワードを入力します。



- (4) メインウィンドウの「環境設定」グループから「環境設定の保存」ショートカットをクリックします。

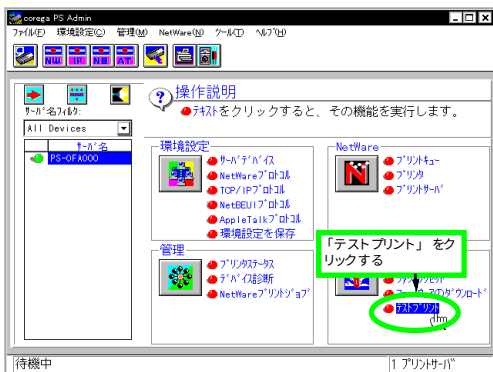


- (5) 以上で、パスワードの設定は完了です。次にPS Admin の設定を変更する際には、パスワードの入力が要求されますので、このパスワードを入力します。

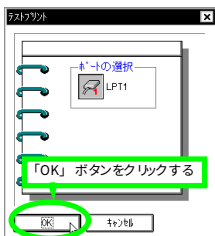
6.4.3 テストプリント機能

本製品にプリンタを接続し、必要な設定を完了した後、テスト印刷を実行すると、出力のテストを行うことができます。

- (1) メインウィンドウの「ツール」グループから「テストプリント」ショートカットをクリックします。



- (2) 「OK」 ボタンをクリックします。



- (3) 本製品は、「corega, K.K. Print Server Test Page」というタイトルのテストページを出力します。



プリントテスト機能は、Plain Text ファイルを受け付けられない PostScript プリンタでは動作しません。

初期設定の確認が終わったら、7 から 10 章の中から、ご使用の OS やネットワークプロトコルに合った章の説明に進んでください。

7 WindowsNT4.0 で印刷する (TCP/IP を利用する)

この章では、WindowsNT から TCP/IP プロトコルを利用して印刷する手順について説明します。

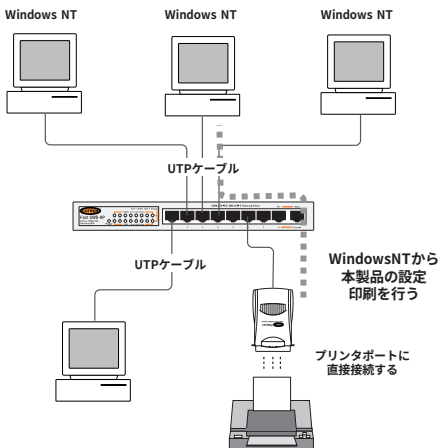


図 7.0.0.1 ネットワーク構成例

説明の中では、本製品の IP アドレスなどを下記の通りに仮定して説明しています。ご使用の本製品の設定に合わせて読み替えてください。

●本製品の MAC アドレスが「009099 0FA000」の場合

- ・本製品の IP アドレス : 192.168.1.151
- ・本製品のサブネットマスク : 255.255.255.0
- ・プリンタ名 : PS-0FA000-P1



この情報は、45 ページのプリンタ追加の手順 (5) 「IP アドレス」と「プリンタポート名」の入力で必要となりますので、ご使用のネットワークの設定や本製品の設定を確認し、メモなどに記録しておいてください。



ここでは、WindowsNT Workstation へのインストール手順を例に説明します。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

7.1 ネットワーク設定を確認する

ご使用のパソコンで「TCP/IP プロトコル」が使用できる状態かどうかを確認し、必要な場合には、ネットワークの設定を行います。

- (1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし、「プロトコル」タブを表示します。
- (2) 「ネットワークプロトコル」に「TCP/IP プロトコル」が含まれていることを確認します。

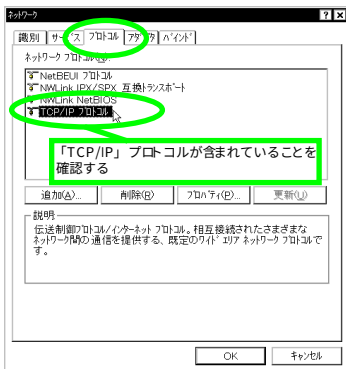
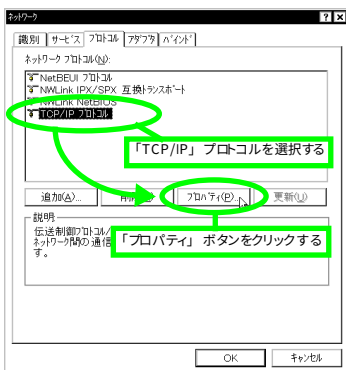


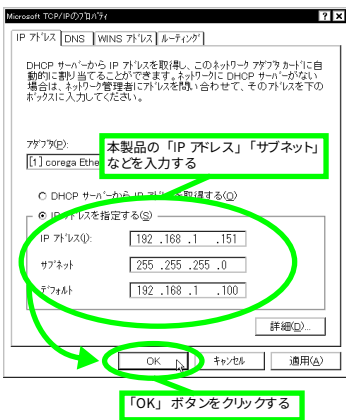
図 7.1.0.1 「現在のネットワーク構成」を確認

- (3) 「ネットワークプロトコル」に「TCP/IP プロトコル」が含まれなかった場合には、「B.2 WindowsNT で「サービス」または「プロトコル」を追加する」(p.119)を参照して追加してください。

- (4) 「TCP/IP プロトコル」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



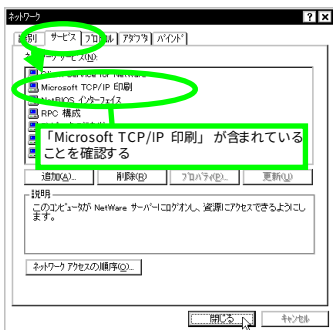
- (5) 「IP アドレス」タブで、「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定します。





ネットワーク上で DHCP サーバを使用する場合は、「DHCP サーバより IP アドレスを取得する」を選択してください。IP アドレスの詳細情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- (6) 「サービス」タブを表示し、「ネットワークサービス」に「Microsoft TCP/IP 印刷」が含まれていることを確認します。

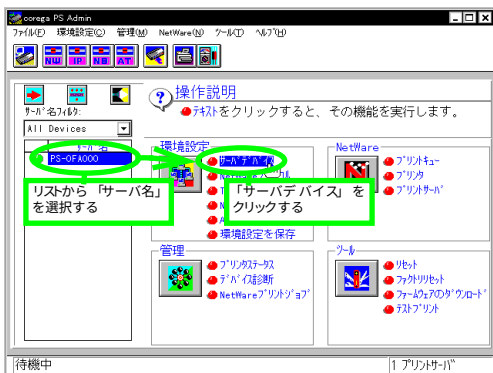


- (7) 「ネットワークサービス」に「Microsoft TCP/IP 印刷」が含まれなかった場合には、「B.2 WindowsNT で「サービス」または「プロトコル」を追加する」(p.119)を参照して追加してください。

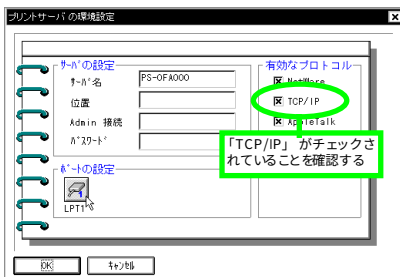
7.2 本製品の設定を確認する

本製品を、TCP/IP ネットワーク上で使用するための設定を確認します。設定は、「6 PS Admin をインストールする」(p.27)に従って、本製品と同じネットワーク上の Windows98/95 または WindowsNT パソコンにインストールされた PS Admin プログラムを使用して行います。

- (1) PS Admin を起動し、メインウィンドウから「環境設定」の「サーバデバイス」をクリックします。



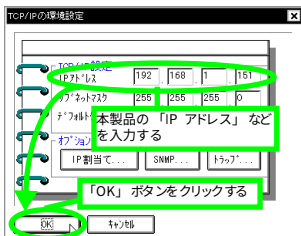
(2) 「TCP/IP」プロトコルが有効になっていることを確認します。



(3) メインウィンドウから、「環境設定」の「TCP/IP プロトコル」をクリックします。



- (4) 「TCP/IP の環境設定」ダイアログで本製品の「IP アドレス」などを設定します。IP アドレスの詳細情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



7.3 プリンタを追加する

ネットワーク設定を確認した後、「プリンタの追加ウィザード」で、本製品に接続されたプリンタを利用したいパソコンにプリンタを追加します。

プリンタを追加する前に、本製品が正しくネットワークに接続されていることを確認してください。ご使用のプリンタによっては、ドライバーファイルを 予めインストールしておく必要があるものがあります。(例: Canon BJ F600 など)

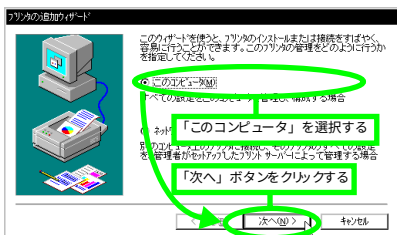


ご使用のプリンタのインストール手順については、プリンタのマニュアルを参照するか、プリンタメーカーにお問い合わせください。

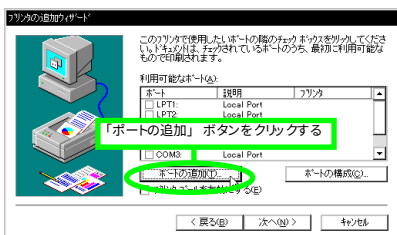


ここでは、WindowsNT Workstation へのインストール手順を例に説明します。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。

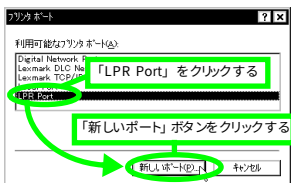
- (1) 「マイコンピュータ」→「プリンタ」アイコンをクリックし、「プリンタ」ウィンドウの「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
- (2) プリンタの管理方法で、「このコンピュータ」をチェックします。



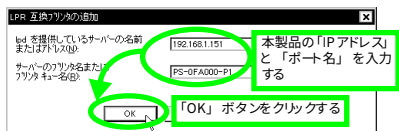
- (3) 「ポートの追加」ボタンをクリックします。



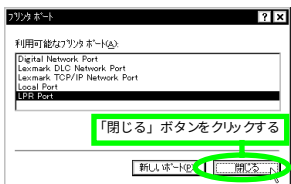
- (4) 「LPR Port」を選択し、新しいポートを追加します。



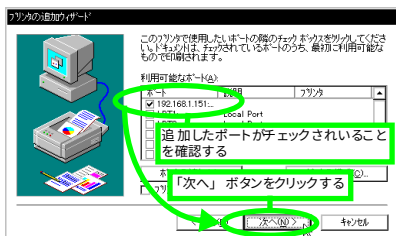
- (5) 「LPR 互換プリンタの追加」ダイアログで、本製品の「IP アドレス」と「プリンタポート名（またはプリンタキュー名）」を入力します。



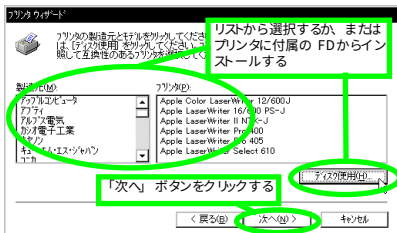
- (6) 「プリンタポート」ダイアログに戻ったら、「閉じる」ボタンをクリックします。



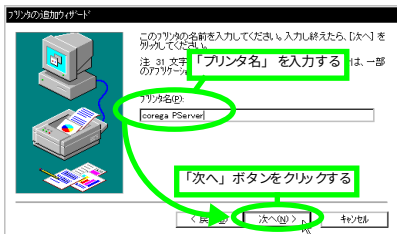
- (7) 「利用可能なポート」に手順 (5) で追加したポートがチェックされていることを確認します。



- (8) ご利用になるプリンタのドライバをインストールします。

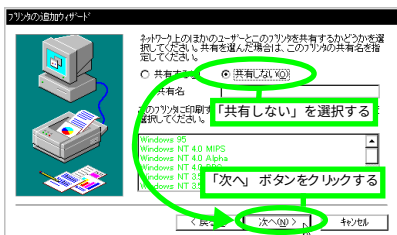


- (9) 「プリンタ名」を設定します。

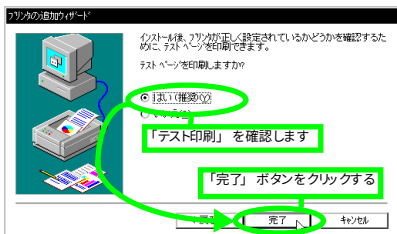


ここで入力した名前です「プリンタ」アイコンが作成されますので、分かりやすい名前になしてください。

- (10) 「プリンタを共有しない」を選択します。



- (11) テストページの印刷を確認し、「完了」ボタンをクリックします。



テスト印刷を行わない場合は、「いいえ」をチェックし、「完了」ボタンをクリックします。テストページは印刷されません。

- (12) テスト印刷を行った場合、正しくプリンタが追加されていれば、テストページが印刷されます。これで、プリンタの追加は完了です。

8 UNIX/Linux で印刷する (TCP/IP プロトコルを利用する)

この章では、UNIX/Linux から TCP/IP プロトコルを利用して印刷する手順について説明します。

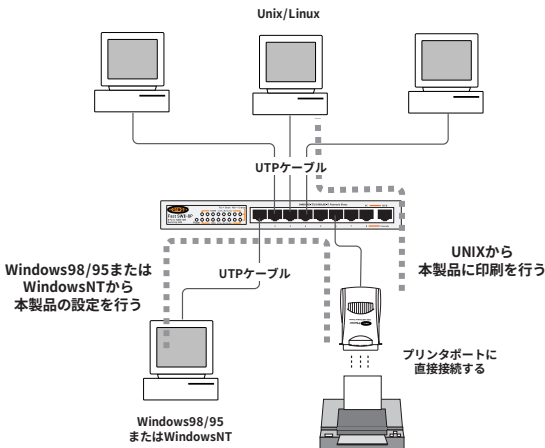


図 8.0.0.1 ネットワーク構成例

説明の中では、本製品の IP アドレスなどを下記の通りに仮定して説明しています。ご使用の本製品の設定に合わせて読み替えてください。

- ・ 本製品の IP アドレス : 192.168.1.151
- ・ 本製品のサブネットマスク : 255.255.255.0
- ・ ホスト名 : PS-0FA000 (本製品のサーバ名と同じ)
- ・ プリンタポート名 : PS-0FA000-P1
- ・ 本製品の MAC アドレス : 00:90:99:0f:a0:00



この情報は、本製品の設定をする場合やプリンタの設定をする場合に必要となりますので、ご注意ください。

8.1 本製品の設定をする

本製品を TCP/IP ネットワーク上で使用するための設定を行います。

設定方法には、次の2種類の方法があります。ご使用のパソコンのネットワーク OS に合わせて設定してください。

- ご使用のネットワーク上に、Windows98/95 または Windows NT4.0 いずれかがインストールされているパソコンがあり、PS Admin プログラムがインストールされている場合
→ 「7.2 本製品の設定を確認する」(p.41) を参照して、本製品の IP アドレスなどを設定し、「8.2 UNIX/Linux でのプリンタの設定」(p.50) に進んでください。
- UNIX/Linux が動作するパソコンしかない場合
次の「8.1.1 UNIX/Linux から本製品の IP アドレスを設定する」に進んでください。

8.1.1 UNIX/Linux から本製品の IP アドレスを設定する

- (1) 本製品の IP アドレスを「arp」コマンドで指定します。
「arp」コマンドは、「arp △ -s △本製品に設定する IP アドレス△本製品の MAC アドレス」の形式で実行します。



「△」の部分は、スペースを入力してください。

コマンド実行例

```
arp △ -s △ 192.168.1.151 △ 00:90:99:0f:a0:00
```



本製品の IP アドレスは、工場出荷時のままでは使用することができませんので、ご使用の環境にあった正しい IP アドレスを設定してください。

- (2) 手順(1)で指定した IP アドレスを、「Ping」コマンドで設定し、併せて通信を確認します。「Ping」コマンドは、「Ping △ IP アドレス」の形式で実行します。

コマンド実行例

```
ping △ 192.168.1.151
```

8.2 UNIX/Linux でのプリンタの設定

- (1) プリンタを使用する UNIX/Linux パソコン（またはワークステーション）にて、「ネットワーク上の lpd プリンタ」を選択してプリンタの設定を行ってください。
- (2) 「etc/hosts」ファイルに、本製品の IP アドレス、ドメイン名、サーバ名を設定します。「cd」コマンドで「/etc」ディレクトリに移動し、「hosts」ファイルに、「本製品の IP アドレス△ドメイン名△サーバ名」の 1 行を追加します。

「hosts」ファイルの記述例

```
192.168.1.151 △ PS.corega.co.jp △ PS-0FA000
```

- (3) 「etc/printcap」ファイルに、プリンタ情報を設定します。

「printcap」ファイルの記述例

```
corega|corega Pserver\  
:lp:rm=PS-0FA000:sd=user/spool/corega:lp=PS-0FA000-P1
```

〔記述するコマンドの説明〕

- lp:
ローカルプリンタのデバイス名（ネットワークプリンタより出力する場合は、何も指定しません。）
- rm:
手順 (2) で「etc/hosts」ファイルに指定したホスト名（本製品のサーバ名と同じ）を指定します。
- sd:
プリントデータをスプールするディレクトリを指定します。ここで指定するディレクトリは、予め用意する必要があります。

- lp:
印刷するプリンタのポート名を指定します。



「etc/printcap」ファイルを指定後、システムを再起動してください。

- (4) 印刷するには、「lpr」コマンドを実行します。

コマンド記述例

```
lpr △ -pPS-0FA000 △印刷するファイル名
```

9 NetWare4.x で印刷する (バインダリモード)

この章では、Novell NetWare 4.x のクライアントから、バインダリモードで、NetWare サーバを経由して印刷する手順について説明します。Novell NetWare 3.x を利用している場合も、設定は同じです。

本ネットワークプリントサーバは、NetWare のプリントサーバとして動作し、1つ以上の NetWare サーバ上のプリントキューをスキャンし、接続しているプリンタに対して送信します。

本ネットワークプリントサーバは、リモートプリンタとしても使用できます。

Novell NetWare 4.x の NDS (Network Directory Service) モードで使用している場合は、「10 NetWare4.xで印刷する (NDSモード)」(p.65)を参照してください。

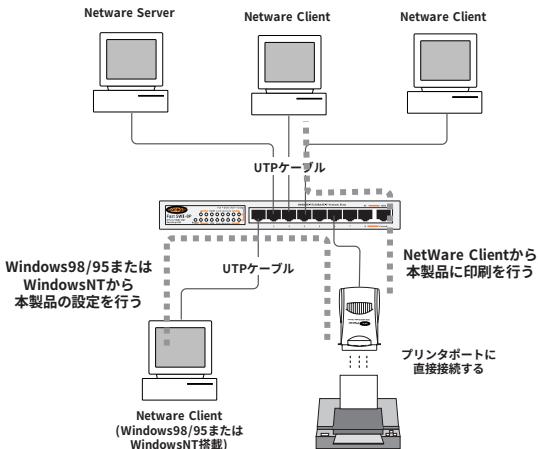


図 9.0.0.1 ネットワーク構成例

説明の中では、本製品のサーバ名などを次の通りに仮定して説明しています。ご使用の環境に合わせて読み替えてください。

- NetWare ファイルサーバ名 : FMV6200
- 本製品のプリントサーバ名 : PS-0FA000
- プリントキュー名 : PS-0FA000-P1

9.1 NetWare プリントサーバとして本製品の設定を行う

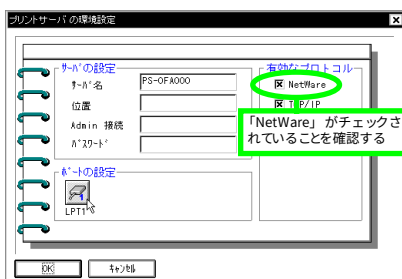
本ネットワークプリントサーバが、NetWare プリントサーバとして動作するための設定およびファイルサーバ上のプリントキューを送信するプリンタポートの設定を行います。設定は、「6 PS Adminをインストールする」(p.27)に従って、本製品と同じネットワーク上の Windows98/95 または WindowsNT パソコンにインストールされた PS Admin プログラムを使用して行います。

なお、本製品を NetWare プリントサーバとして使用される場合は、必ず NetWare サーバの管理者の方にご確認の上、設定を行ってください。

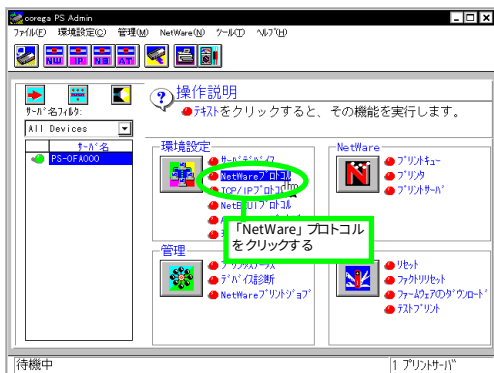
- (1) NetWare サーバに「SUPERVISOR」または、それと同等の権限でログインできるかどうかを確認し、ログインします。
- (2) PS Admin を起動し、メインウィンドウから「環境設定」の「サーバデバイス」をクリックします。



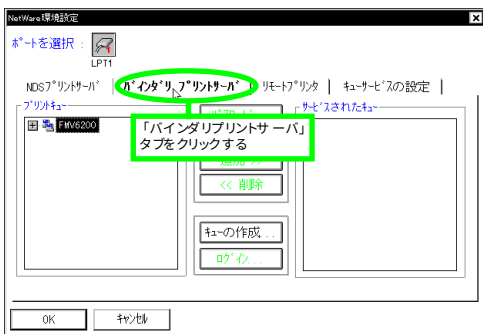
- (3) 「NetWare」プロトコルが有効になっていることを確認します。



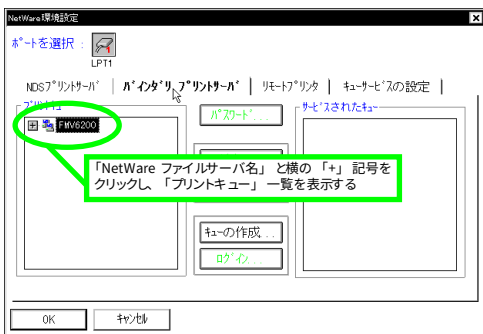
- (4) メインウィンドウから、「環境設定」の「NetWare プロトコル」をクリックします。



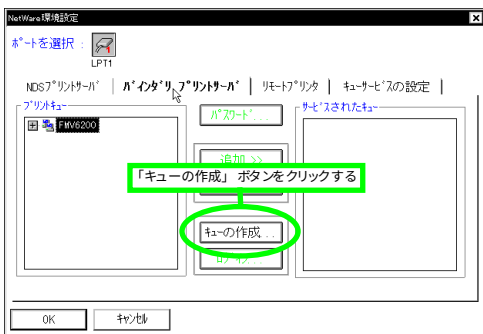
- (5) 「バイナリプリントサーバ」タブをクリックします。



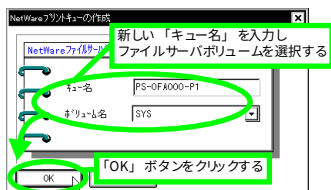
- (6) プリントキューを格納したい、NetWare ファイルサーバの名前をクリックします。サーバ名の左にある + 記号をクリックすると、ファイルサーバ名のプリントキューの一覧が表示されます。



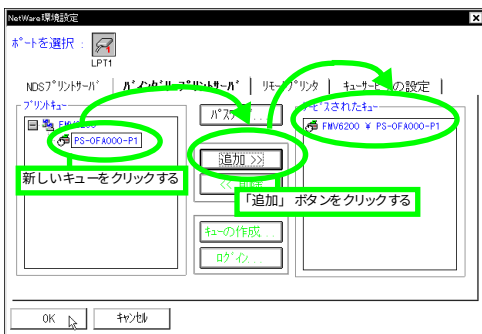
- (7) サーバ上に存在するプリントキューを使用しない場合は、新しくプリントキューを作成します。



- (8) New print queue name and file server volume to store the print queue are selected.



- (9) Add the new print queue to the list of queues served by the service.



- (10) ネットワークプリントサーバと NetWare サーバの設定を変更するために、「環境設定」グループから、「環境設定の保存」ショートカットをクリックします。プリントサーバは再起動され、指定したプリントキューを配信します。

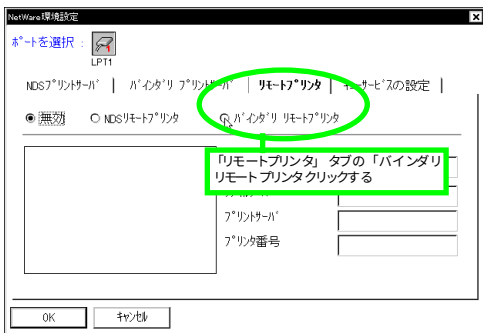


手順 (7) でプリントキューを作成した場合は、キューオペレータユーザを、PS Admin もしくは NetWare PCONSOLE プログラムを使用して、プリントキューにアサインする必要があるかもしれません。デフォルトでは、SUPERVISOR はプリントキューオペレータにアサインされており、EVERYONE グループの全てのメンバーはプリントキューを使用することが許可されています。

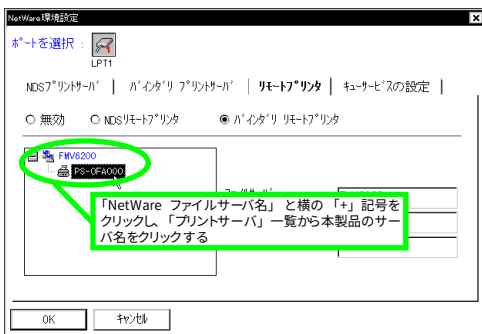
す。PS Admin を使用したプリントキューユーザとオペレータのアサインについては、「11.9.1 「プリントキュー」の管理」(p.93)を参照してください。

9.2 NetWare リモートプリンタとして、本製品を設定する

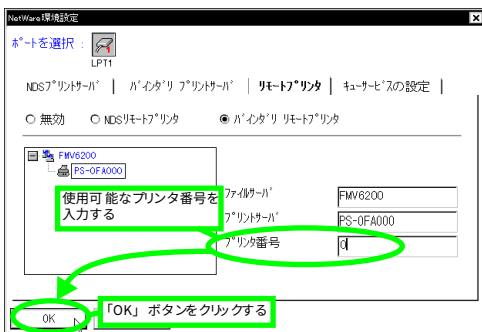
- (1) NetWare サーバに「SUPERVISOR」または、それと同等の権限でログインできるかどうかを確認し、ログインします。
- (2) PS Admin を起動し、メインウィンドウから「環境設定」の「サーバデバイス」をクリックし、「NetWare プロトコル」が使用可能であることを確認します。
- (3) NetWare サーバ上にプリントサーバが作成され、動作していることを確認します。詳細は、NetWare サーバの管理者に確認するか、NetWare のマニュアルを参照してください。
- (4) メインウィンドウから、「環境設定」の「NetWare プロトコル」をクリックします。
- (5) 「リモートプリンタ」タブの「バインダリリモートプリンタ」をクリックします。



- (6) サーバ名の左にある「+」記号をクリックし、ファイルサーバ上のプリントサーバの一覧の中から、使用するプリントサーバを選択します。



- (7) どのプリンタ番号が与えられたプリントサーバ上で使用可能であるかを設定し、プリンタ番号フィールドに、使用されていないプリンタ番号を入力します。



- (8) 本ネットワークプリントサーバと NetWare サーバの設定を変更するために、「環境設定」グループから、「環境設定の保存」ショートカットをクリックします。プリントサーバは再起動され、リモートプリンタとして、サービスを開始します。

9.3 Windows 98/95 クライアントから印刷する

本製品に、NetWare ファイルサーバから印刷するための設定を終えると、Windows98/95 クライアントから NetWare ファイルサーバのプリントキューに接続できます。

9.3.1 プリンタの追加

次の手順で、Windows98/95 クライアントから NetWare プリントキューに出力するために、プリンタを追加します。



次の説明では、Windows95の手順を使って説明しています。ご使用の環境により、手順が異なることがあります。

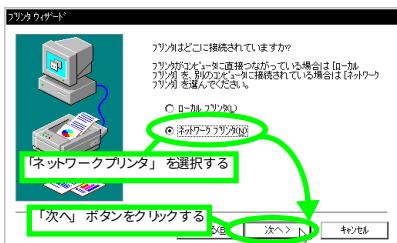
- (1) 「マイコンピュータ」→「プリンタ」アイコンをクリックし、「プリンタ」ウィンドウの「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。



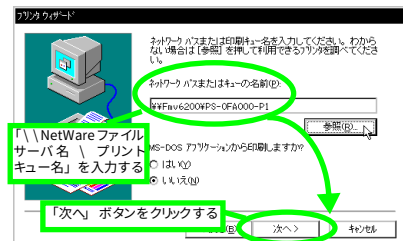
- (2) 「プリンタの追加」ウィザードが起動します。



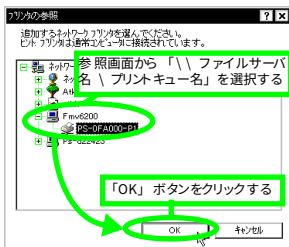
- (3) 「ネットワークプリンタ」を選択します。



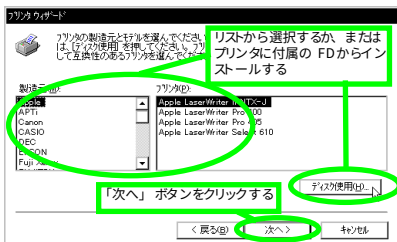
- (4) 「ネットワークパスまたはキューの名前」を入力し、接続したいプリントキューを指定します。



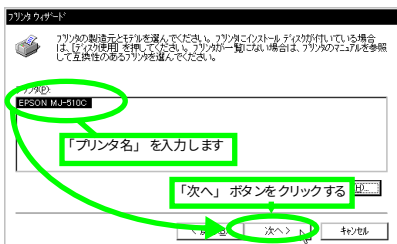
「参照」ボタンをクリックして、ファイルサーバとプリントキューを設定することもできます。



(5) プリンタのドライバをインストールします。



(6) 新しいプリンタに対する名前を指定します。

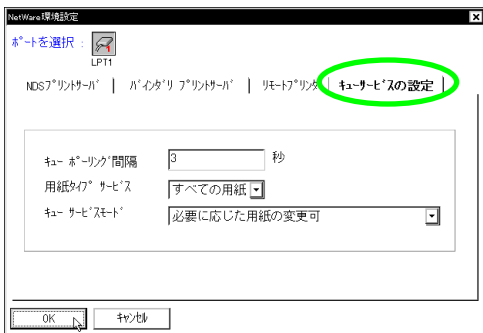


(7) プリンタの追加は完了です。

9.3.2 NetWare キューサービスの設定

PS Admin の「NetWare環境設定」の「キューサービスの設定」からも、プリントサーバのパラメタを設定することができます。

- (1) PS Admin プログラムを起動します。
- (2) メインウィンドウの「環境設定」メニューから「NetWare プロトコル」をクリックします。
- (3) 「キューサービスの設定」タブをクリックします。



表示されるパラメタのリストは、次の通りです。

●「キューポーリング間隔」

プリントサーバが、ファイルサーバ上のプリントキューを定期的に照会する間隔を設定します。「1」から「60」秒の間隔を入力します。

●「用紙サイズサービス」

以下に記述するキューサービスモードにそって、プリントサーバがプリントキューを配信しているときに、用紙の対応を選択する方法を選択します。

「PCONSOLE」を使用して、異なる用紙を定義して、プリンタが使用可能な紙とは違うタイプを関連づけることができます。(例 plain、letterhead、legal、A4、B4 etc.) 印刷ジョブが、その時にロードされていない用紙をリクエストした場合、印刷が継続される前にプリントオペレータによって手作業で変更することが必要です。

●全ての用紙

選択したプリントサーバは、プリントファイルで指定可能な用紙タイプとは関係なく、プリントジョブのキュー解除（それに接続されたプリンタの1つによる処理）を行います。

●現在の用紙

プリントサーバは、プリンタの現在の用紙タイプと同じ用紙タイプの指定されたプリントジョブだけのキュー解除を行います。

●キューサービスモード

ネットワークプリンタの現在の用紙を以下の4つのモードで変更します。

●必要に応じた用紙の変更可

順番に印刷ジョブを処理し、必要なときにその都度停止して用紙の変更をします。詳しくは、NetWare ユーザドキュメントをご覧ください。

●キュー内での用紙最低限変更

用紙変更の数をもっとも少ない順に、プリントキュー内のジョブを再整理します。用紙変更が要求された場合、印刷は変更のためにストップします。

●現在設定されている用紙のみサービス可

プリンタが既に持っている用紙を使用するプリントキュージョブだけを処理します。他の用紙を使用したジョブは、他のプリンタによって処理されるまで、キューに蓄積されたままとなります。

●用紙最低限変更

用紙変更数のもっとも少ない順に、プリンタが配信した全てのプリントキューに対してジョブを再整理します。

10 NetWare 4.x で印刷する (NDS モード)

この章では、Novell NetWare 4.x のクライアントから、NDS モードで、NetWare サーバを経由して印刷する手順について説明します。本ネットワークプリントサーバは、NetWare 4.x ネットワークで使用される NetWare Directory Service (以下 NDS と略記) をサポートしています。本ネットワークプリントサーバは、NetWare のプリントサーバとして動作し、1 つ以上の NetWare サーバ上のプリントキューをスキャンし、接続しているプリンタに対して送信します。本ネットワークプリントサーバは、リモートプリンタ接続にも使用できます。

Novell NetWare 4.x のバインダリモードで使用している場合は、「9 NetWare 4.x で印刷する (バインダリモード)」(p.52) を参照してください。

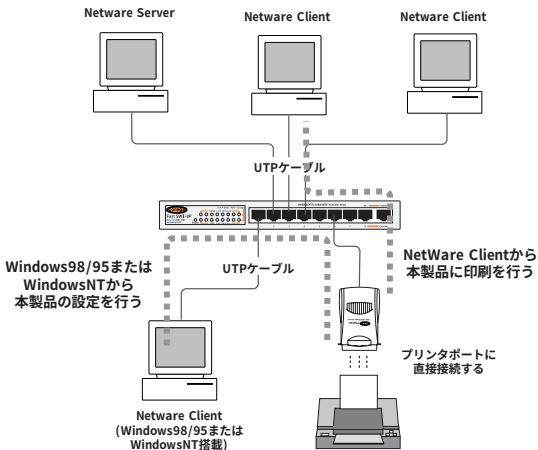


図 10.0.0.1 ネットワーク構成例

説明の中では、本製品のサーバ名などを下記の通りに仮定して説明しています。ご使用のネットワークプリントサーバの設定に合わせて読み替えてください。

- NetWare ファイルサーバ名 : FMV6200
- 本製品のプリントサーバ名 : PS-0FA000
- プリンタポート名 : PS-0FA000-P1
- プリントキュー名 : corega PServer

10.1 NetWare プリントサーバとして本製品の設定を行う

本製品を、NetWare の NDS プリントサーバとして設定するためには、最初いくつかの NDS オブジェクトを作成する必要があります。MS-DOS から、「PCONSOLE」もしくは「NETADMIN」プログラムを使用するか、Windows から「NWADMIN」プログラムを使用することによって作成できます。この説明では、「PCONSOLE」を使って説明します。

なお、本製品を NetWare のプリントサーバとして使用される場合は、必ず NetWare サーバの管理者の方にご確認の上、設定を行ってください。

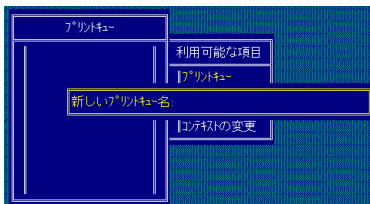
- (1) NetWare クライアントから、「ADMIN」でログインし、NetWare ファイルサーバに設定を行います。
- (2) パスワードを入力します。
- (3) 「PCONSOLE」を実行します。
- (4) NDS モードの「利用可能な項目」ウィンドウが表示されます。



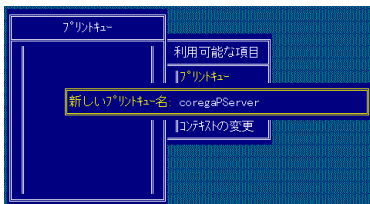
- (5) 「プリントキュー」を選択し、「Enter」キーを押します。



- (6) 「Insert」キーを押すと、「新しいキュー名」の入力を要求されます。



- (7) 「新しいプリントキュー名」に、プリントキュー名を入力し、「Enter」キーを押します。



- (8) 「オブジェクト、クラス」ウィンドウで、「Insert」キーを押し、本製品のプリントキューボリューム名を選択し、「Enter」キーを押します。



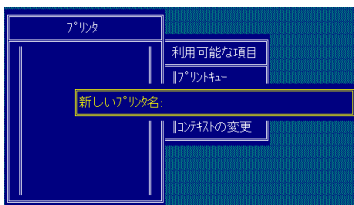
- (9) 「プリントキュー」ウィンドウに「新しいプリントキュー名」が表示されます。「Esc」キーを押します。



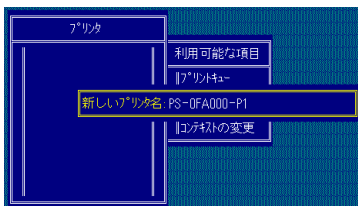
- (10) 「利用可能な項目」ウィンドウに戻ったら、「プリンタ」を選択し、「Enter」キーを押します。



- (11) 「Insert」キーを押すと、「新しいプリンタ名」の入力を要求されます。



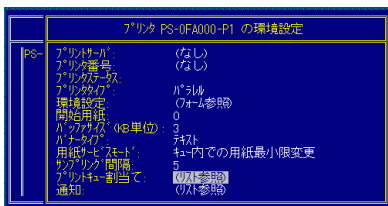
(12) 本製品のプリンタポート名を入力し、「Enter」キーを押します。



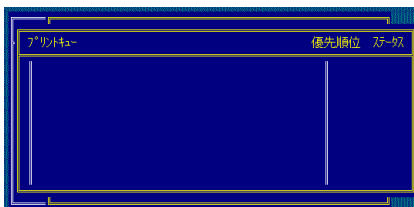
(13) 手順(12)で入力したプリンタポート名を選択し、「Enter」キーを押します。



(14) 「プリンタ PS-0FA000-P1 の環境設定」ウィンドウが表示されるので、「プリントキュー割り当て」を選択し、「Enter」キーを押します。



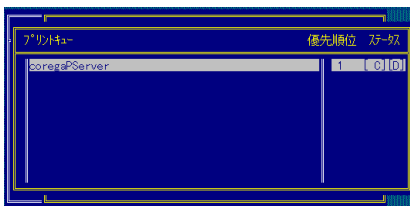
(15) 「プリントキュー」ウィンドウが表示されたら「Insert」キーを押します。



(16) 手順で(7) 入力したプリントキューを選択し、「Enter」キーを押します。



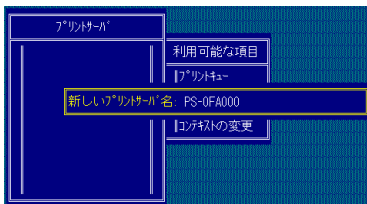
(17) 「プリントキュー」ウィンドウに「新しいプリントキュー名」が表示されます。



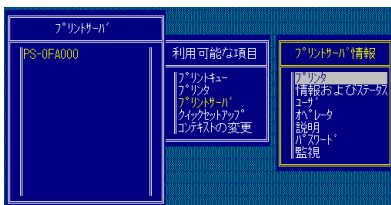
- (18) 「Esc」 キーを 3 回押し、「利用可能な項目」ウィンドウに戻ったら、「プリントサーバ」を選択し、「Enter」 キーを押します。



- (19) 「Insert」 キーを押すと、「新しいプリントサーバ名」を要求されますので、本製品のプリントサーバ名を入力し、「Enter」 キーを押します。



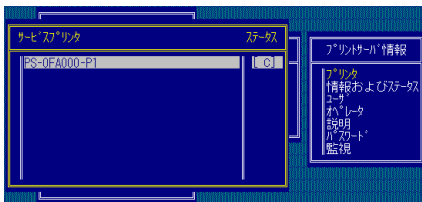
- (20) 手順 (19) で入力したプリントサーバ名を選択し、「Enter」 キーを押し、「プリントサーバ情報」ウィンドウが表示されたら、「プリンタ」を選択し「Enter」 キーを押します。



- (21) 「Insert」キーを押すと、「オブジェクト、クラス」ウィンドウが表示されるので、手順(12)で入力したプリンタポート名を選択し、「Enter」キーを押します。



- (22) 「サービスプリンタ」ウィンドウが表示されます。



- (23) 「Esc」キーを押して、開いているウィンドウを閉じ、終了します。

1 1本製品の詳細設定

この章では、本製品の設定ツールプログラム「PA Admin」について詳しく説明します。
PS Admin は、Windows98/95 または WindowsNT 4.0 上で使用できます。

11.1 メインウィンドウ

「スタート」メニューから「プログラム」→「corega PS Admin」→「corega PSAdmin v1.10J」と選択し、PS Admin が起動されると、次のメインウィンドウが表示されます。

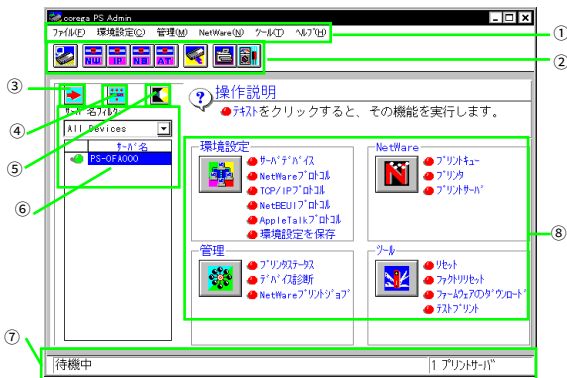


図 11.1.0.1 PS Admin のメインウィンドウ

メインメニュー内の各項目について説明します。

①メニューバー

PS Admin の各コマンドを実行できます。

②ツールバーボタン

PS Admin のメニューの内、主要な項目を簡単に操作できるようにツールボタンにしました。メニューから選択しなくても、ボタンをクリックすると操作を実行できます。ツールボタンの各機能を左から説明します。

- ・「サーバデバイス」ボタン

本製品の識別データやパスワードの設定または変更、ネットワークプロトコルの有効無効の切り替え、ポートに対する設定の変更などを行います。

設定の変更は、「環境設定の保存」コマンドで環境設定データを本製品に格納した時点で有効になります。

- ・「NetWare プロトコル」ボタン

NetWare ネットワーク環境で、本製品を NetWare プリントサーバまたはリモートプリンタとして使用するのに必要なすべての設定を行います。

設定の変更は、「環境設定の保存」コマンドで環境設定データを本製品に格納した時点で有効になります。

- ・「TCP/IP プロトコル」ボタン

TCP/IP 接続と SMP に必要な本製品の IP アドレスの設定と、その他に必要なアドレスデータを設定します。

設定の変更は、「環境設定の保存」コマンドで環境設定データを本製品に格納した時点で有効になります。

- ・「NetBEUI プロトコル」ボタン

Microsoft ネットワーク環境で印刷を行うのに必要な、ワークグループ名やその他のデータの設定を行います。

設定の変更は、「環境設定の保存」コマンドで環境設定データを本製品に格納した時点で有効になります。

- ・「AppleTalk プロトコル」ボタン

AppleTalk ネットワーク環境で本製品を使用して印刷を行うのに必要な、AppleTalk ゾーンの設定やポートの設定を行います。

設定の変更は、「環境設定の保存」コマンドで環境設定データを本製品に格納した時点で有効になります。

- ・「環境設定の保存」ボタン

現在の環境設定データを選択した本ネットワークプリントサーバに書き込み、ネットワークプリントサーバを再起動します。新しい環境設定は、本ボタンをクリックすることで有効になります。

- ・「プリンタステータス」ボタン

本製品のプリンタポートに接続されているプリンタのモデル名やステータス情報（オンライン、オフライン、印刷中、用紙切れのいずれかを表示）などを表示します。

- ・デバイス診断

選択したネットワークプリントサーバを参照し、ネットワークプリントサーバの最新管理情報を「デバイス診断」ウィンドウで表示します。情報は、「環境設定」、「ステータス」、「詳細」、「ログ」の4つのタブに分けて表示されます。

③ 「サーバリストを拡張」 ボタン

このボタンをクリックすると、サーバ名一覧が拡張され、サーバ名だけでなく、その他の情報の一覧も表示されます。再度、このボタンをクリックすると、サーバ一覧が縮小され、メインメニューに戻ります。



図 11.1.0.2 拡張サーバ名リスト

④ 「フィルタストリングを定義」 ボタン

フィルタストリングを定義すると、ネットワークに接続されている複数代の本ネットワークプリントサーバの中から、指定された文字列を含むネットワークプリントサーバ名のみ選択して、サーバ名一覧に表示する事ができます。

→フィルタストリングの定義の詳細については、「11.3 フィルタストリングの定義」(p.79) 参照

⑤ 「ネットワークプリントサーバを検索」 ボタン

新しく、本ネットワークプリントサーバをネットワークに追加した場合、このボタンをクリックすると、新しいネットワークプリントサーバを検索し、PS Adminウィンドウの表示が更新されます。

⑥ 「サーバ名一覧」

ネットワーク上に存在する本ネットワークプリントサーバの名前をリストにして表示します。

⑦ 「ステータス」 バー

左側には各種のヘルプのヒントと補足情報が表示されます。右側には、常に、現在のサーバ名リストまたは拡張サーバ名リストの本製品の数が表示されます。

⑧ショートカットメニュー

PS Admin のメニューを簡単に操作できるように用意した、ショートカットメニューです。それぞれのショートカットをクリックするだけで、メニューの「環境設定」、「管理」、「NetWare」、「ツール」の各項目を選択したときと同じ操作を実行できます。

11.2 本製品のサーバ名とポート名の変更

本製品のサーバ名とポート名は、工場出荷時には次のように設定されています。

- サーバ名：PS-xxxxxx
- ポート名：PS-xxxxxx-P1

「xxxxxx」は、本製品の MAC アドレスの下 6 桁（例えば、本体に裏面に表記されている MAC アドレスが「009099 0FA000」の場合は、「0FA000」）が使われています。

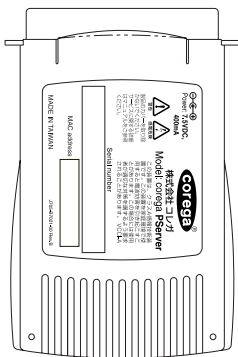


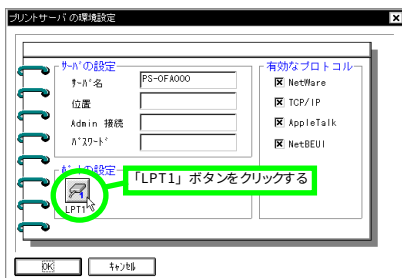
図 11.2.0.1 本製品裏面

サーバ名とポート名は、このままで使用することもできますが、任意の名称に変更することもできます。設定の変更は、以下の手順で行います。

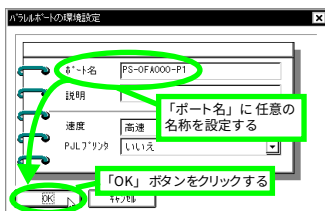
- (1) PS Admin のメインウィンドウから、「環境設定」グループの「サーバデバイス」ショートカットをクリックします。

ネットワークプリントサーバ名の大文字と小文字は区別されません。A から Z、0 から 9 およびハイフン（“-”）の文字を使って名前を設定することをお勧めします。

- (3) 「ポート名」を変更するには、「ポートの設定」の「LPT1」ボタンをクリックします。



- (4) 「ポート名」に任意の名称を設定します。



各設定項目についての説明は、次の通りです。

- ・「ポート名」
ネットワークシステム上の名前です。A から Z、0 から 9 およびハイフン（“-”）の文字を使って、最大 32 文字までの名前を設定できます。スペースは使用できません。ポートが、LAN Manager クライアントに対して使用される場合は、ポート名は、8 文字以内にしてください。
- ・「説明」
ポートに対するコメントを記述します。

- ・「速度」

ポートに対して、「高速」または「低速」の通信速度を設定します。ポートに接続しているプリンタが「高速」の通信速度に対応していない場合は、「低速」の通信速度を選択する必要があります。最近のプリンタの多くは、「高速」の通信速度に対応しています。プリンタがキャラクタ損失を起こす場合には、「低速」モードにしてください。

- ・「PJL プリンタ」

ポートに接続しているプリンタが、Hewlett Packard 社の PJL (Printer Job Language) 互換プリンタの場合は、ドロップダウンリストから、「はい」を選択します。PJL 互換プリンタでない場合には、「いいえ」を選択します。

(5) 「環境設定を保存」します。

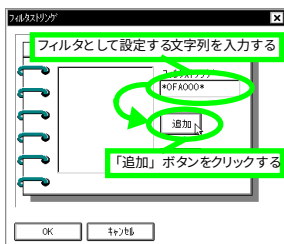


11.3 フィルタースtringの定義

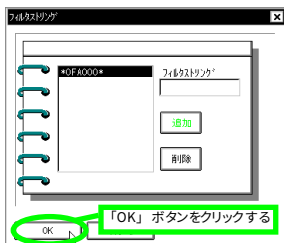
フィルタースtringを定義すると、指定した文字列をフィルターにして、特定のネットワークプリントサーバのみを「サーバ名一覧」にリストとして表示することができます。ネットワーク上に、本ネットワークプリントサーバが複数存在するような場合、簡単に、特定のネットワークプリントサーバを選択して設定を変更することができます。

(1) 「フィルタースtringを定義」ボタンをクリックします。

- (2) フィルタ文字列を追加します。



- (3) 「OK」ボタンをクリックします。



不要になったフィルタ文字列は、「削除」ボタンで削除できます。

- (4) 「サーバ名フィルタ」ドロップダウンリストから、追加された文字列を選択すると、手順(2)で指定した文字列を含むサーバ名のみが、サーバー一覧に表示されます。



文字列、“*”や“?”をワイルドカードとして使用することもできます。



大文字と小文字は区別されます。



このフィルタリングは、サーバ名リストにのみ有効です。すべてのネットワークプリントサーバは、リストに表示されるかどうかに関係なく、通常の動作を継続します。

11.4 環境設定ファイルについて

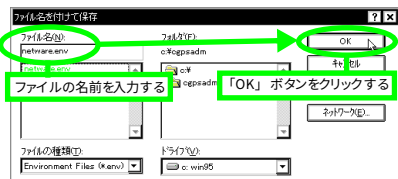
PS Admin プログラムを起動すると、ネットワーク上に存在するすべての corega Fast PServer/PServer の情報を検索し、メインウィンドウに表示します。

この情報を環境設定ファイルとして保存することで、PS Admin 起動時に、ネットワークを検索せずに情報を表示することができます。

11.4.1 環境設定ファイルの保存

次の手順で、最新の環境設定ファイルを保存します。

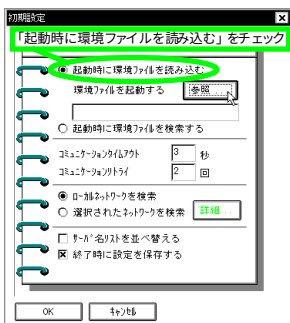
- (1) 「プリントサーバの検索」ボタンをクリックし、ネットワークのネットワークプリントサーバ情報を最新状態に更新します。
- (2) 「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択します。
- (3) 環境設定ファイルを保存します。拡張子は、「.env」になります。



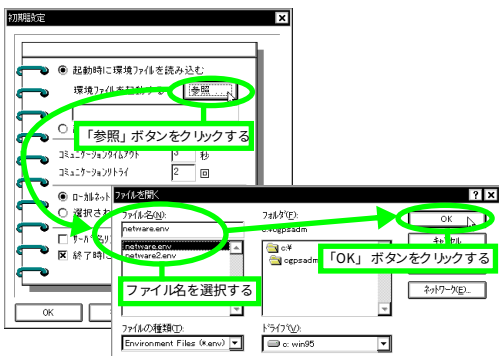
11.4.2「初期設定」を変更する

保存した環境設定ファイルを PS Admin 起動時に読み込むためには、初期設定を変更する必要があります。

- (1) 「ファイル」メニューから「初期設定」を選択します。
- (2) 「起動時に環境設定ファイルを読み込む」を選択します。



- (3) PS Admin 起動時に読み込む環境設定ファイルを指定します。



- (4) 次のPS Admin起動時には、環境設定ファイルから読み出された情報が表示されます。

「初期設定」メニューの各項目について説明します。

- ・「起動時に環境ファイルを検索する」

このチェックボックスをチェックすると、PS Admin は起動時に、ネットワーク上に存在するすべてのネットワークプリントサーバ情報を検索します。

- ・「コミュニケーションタイムアウト」

PS Admin とネットワークプリントサーバが通信を行う時間を設定します。2 ～ 10 秒の範囲で設定でき、工場出荷時の設定は「3 秒」になっています。この設定を小さくすると、PS Admin とネットワークプリントサーバが通信する時間は短くなりますが、通信の信頼性も損なわれる可能性があります。設定を大きくすると通信時間は長くなりますが、ネットワークプリントサーバの台数の多い大規模なネットワークなどで通信の信頼性を保つためには、設定を大きくする必要があります。

- ・コミュニケーションリトライ

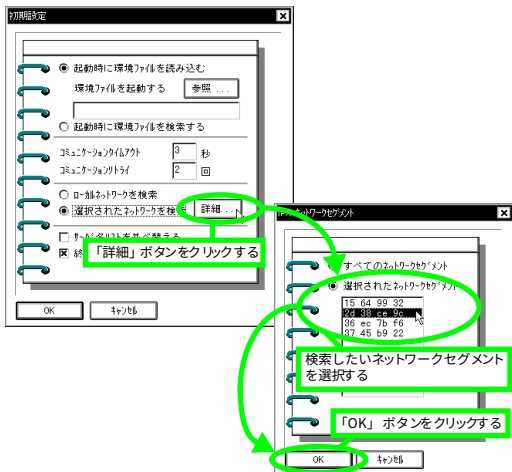
PS Admin とネットワークプリントサーバが通信をリトライする回数を設定します。1 ～ 10 回の範囲で設定でき、工場出荷時の設定は「1 回」になっています。この設定を 1 にすると、PS Admin とネットワークプリントサーバ間の通信が失敗しても、リトライは行われません。PS Admin での処理は高速化されますが、通信の失敗による PS Admin からの診断応答が増える場合があります。この設定を大きくすると、信頼性の問題を診断するのに有効となります。

- ・「ローカルネットワークを検索」

このチェックボックスをチェックすると、ネットワーク（LAN）全体でネットワークプリントサーバ情報を検索します。

- ・「選択されたネットワークを検索」

このラジオボタンをチェックすると、ネットワーク上にある特定のセグメントのみでプリントサーバを検索します。「参照」ボタンをクリックすると、IPX ネットワークのセグメント情報が一覧で表示されます。一覧から、検索したいセグメントを選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



- ・「サーバ名リストを並べ替える」

このチェックボックスをチェックすると、PS Admin はプリントサーバの名前を、ASCII コード順に並べ替えて表示します。

- ・「終了時に設定を保存する」

このチェックボックスをチェックすると、PS Admin の終了時に、初期設定を「psadmin.ini」として保存します。次の起動時には、保存された内容が「初期設定」ウィンドウに表示されます。

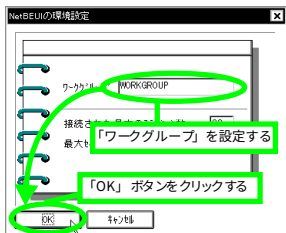
11.5 NetBEUI」の環境設定

PS Adminを使うと、NetBEUI プロトコルの環境設定を変更することができます。

- (1) メインウィンドウから、「環境設定」の「NetBEUI プロトコル」をクリックします。



- (2) 「NetBEUI の環境設定」ダイアログでワークグループなどを設定します。ご使用の環境に合わせて設定してください。



各設定項目について説明します。

- ワークグループ名

Microsoft ネットワークのワークグループ名（英数半角文字で 15 文字まで）を入力します。PS Admin をインストールして本製品の設定を行うパソコンや、本製品に接続したプリンタに対して印刷を行うパソコンと同じワークグループ名を設定します。ワークグループ名が合っていないと、プリンタのステータスなどを参照することができません。

パソコンのワークグループ名は、「コントロールパネル」→「ネットワーク」の「ユーザー 情報」で確認することができます。本製品の工場出荷時の設定は、「WORKGROUP」になっています。

- 接続された最大のステーション数

選択したプリントサーバに対する最大許容ステーション数を入力します。（工場出荷時の値は 32）

- 最大セッション数

選択したプリントサーバに対する最大許容セッション数を入力します。（工場出荷時の値は 32）

11.6「AppleTalk」の環境設定

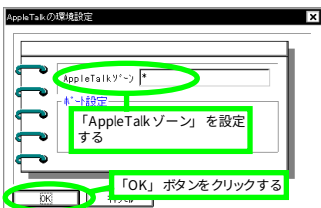
PS Admin を使うと、AppleTalk プロトコルの環境設定を変更することができます。

11.6.1「AppleTalk ゾーン」の設定

(1) メインウィンドウから、「環境設定」の「AppleTalk プロトコル」をクリックします。



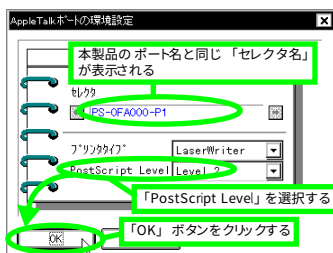
- (2) 「AppleTalk ゾーン」を指定します。



AppleTalk ネットワークが、AppleTalk ゾーンに分かれている場合、本製品がどのゾーンにあるのかを指定する必要があります。ネットワークを使用するユーザの大半が使用しているゾーンに、本製品を設置することをお勧めします。ネットワークがゾーンに分かれていない場合は、「AppleTalk ゾーン」には、「*」を入力してください。「AppleTalk ゾーン」設定の初期値は、「*」です。

11.6.2 プリントポートの設定変更

- (1) プリントポートの設定を変更します。



「セクタ」名（ポート名と同じ）を表示し、ポートの環境設定を変更します。

- 「プリンタタイプ」
プリンタのタイプを指定します。
「プリンタタイプ」には「Laser Writer」が設定されています。AppleTalk プロトコルでは、Laser Writer 以外のプリンタはサポートしません。
- 「PostScript Level」
Laser Writer の機能に応じて、「Level 1」または「Level 2」のどちらかを選択します。お使いの Laser Writer が「Level 2」をサポートしていない場合は、「Level 1」を選択してください。



ご使用のプリンタの「PostScript Level」に関しては、プリンタのマニュアル、またはプリンタのテストページを参照してください。

- (2) 「OK」ボタンをクリックし、「環境設定」グループの「環境設定を保存」ショートカットをクリックします。

11.7「プリンタステータス」の確認

「プリンタステータス」を表示すると、ネットワーク上に存在する本ネットワークプリントサーバのプリンタポートに接続されているプリンタの状態などを確認することができます。

プリンタステータスを正しく表示させるためには、接続されているプリンタが PJL プリンタであるかどうか正しく設定されていなければなりません。PJL 互換プリンタであるかどうかの設定は、「環境設定」グループの「サーバデバイス」ショートカットをクリックし、「ポートの設定」の「LPT1」ボタンをクリックし、「PJL プリンタ」の設定に、「はい」か「いいえ」を、正しく設定してください。

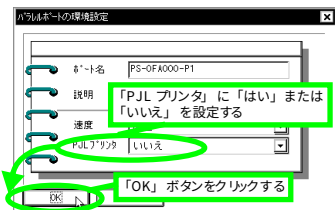


図 11.7.0.1 「パラレルポートの環境設定」ダイアログ

「プリンタステータス」は次の手順で表示します。

- (1) 「サーバ名一覧」からプリンタステータスを表示させたいネットワークプリントサーバを選択し、「管理」グループの「プリンタステータス」ショートカットをクリックします。
- (2) 「プリンタステータス」が表示されます。



プリンタステータスには、次の4項目が表示されます。

- ・ プリンタモデル名
- ・ プリンタステータス（プリンタの状態）
- ・ プリンタステータスコード
- ・ プリンタパネル



PJL 互換プリンタでない場合は、「On Line」、「Off Line」、「印刷中」、「用紙切れ」の4つのプリンタステータスのいずれかが表示されます。

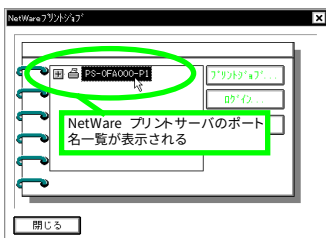


「プリンタステータス」ウィンドウに表示される情報は、逐次には更新されません。最新情報に更新するには、「更新」ボタンをクリックしてください。

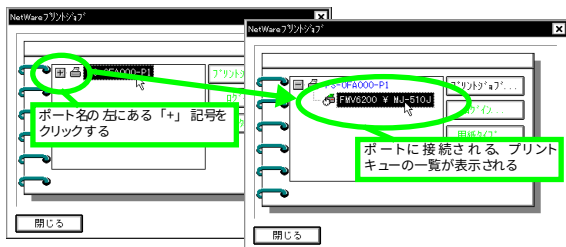
11.8「NetWare プリントジョブ」の管理

本製品を、NetWare のバイナリプリントサーバとして使用している場合、割り当てられたキュー内の各プリントジョブの削除や一時停止などの管理を行うことができます。

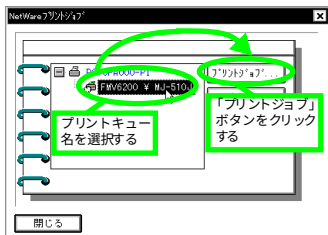
- (1) 「管理」グループの「NetWare プリントジョブ」ショートカットをクリックします。
- (2) 「NetWare プリントジョブ」ウィンドウが表示されます。



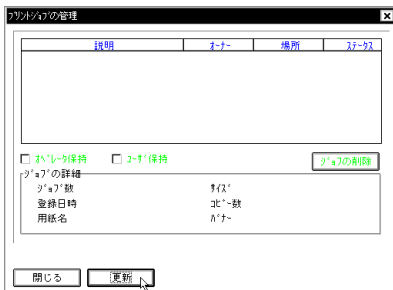
- (3) プリントキューを表示します。



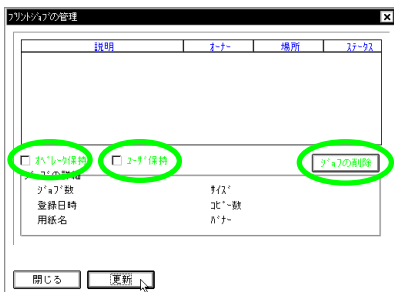
- (4) 「プリントジョブ」ボタンをクリックします。



(5) プリントジョブの内容を確認します。



(6) プリントジョブを選択すると、プリントジョブの管理が可能になります。



プリントジョブの管理には、つぎの3つのオプションがあります。

- 「削除」ボタン
選択したプリントジョブを、プリントキューから直ちに削除します。
- 「オペレータ保持」
このチェックボックスをチェックすると、選択したジョブに関するすべての処理が、「オペレータ保持」チェックボックスのチェックを外すまで延期されます。プリントファイルの所有者は、最初にオペレータログインを行ってからでないと、「オペレータ保持」を解除する（チェックを外す）ことはできません。
- 「ユーザ保持」
このチェックボックスをチェックすると、選択したジョブに関するすべての処理が、「ユーザ保持」チェックボックスのチェックを外すまで延期されます。プリントファイルの所有者は、「オペレータ保持」を解除する（チェックを外す）ことはできません。

[用紙サイズの変更方法]

「用紙タイプサービス」の設定が、「すべての用紙」でないプリントサーバポートの現在の用紙タイプを変更するには、そのポートを選択してから「NetWare プリントジョブ」ウィンドウの「用紙タイプ」ボタンをクリックします。「用紙タイプ」ウィンドウが表示されたら、希望する新しい用紙タイプ番号を、「現在の用紙タイプ」テキストボックスに入力し、「OK」ボタンをクリックします。

11.9「NetWare」の環境設定とファイルの管理

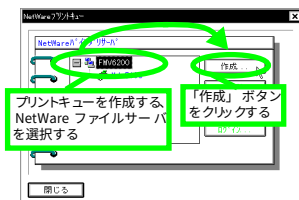
PS Admin プログラムは、NetWare バインダリプリントパスを設定、または変更することができます。（「NetWare」メニューのコマンドは、対応する NetWare 「PCONSOLE」 バインダリ機能と同等です。

11.9.1「プリントキュー」の管理

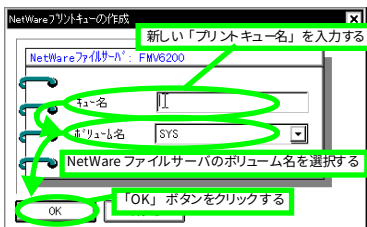
「NetWare」グループの「プリンタキュー」ウィンドウでは、NetWare のファイルサーバのリストが表示され、サーバへのログイン、NetWare プリントキューを定義する、または削除することができます。選択したプリントキューに対して、サービスするように NetWare プリントサーバを割り当て、または割り当てを解除することができます。

11.9.1.1 プリントキューの定義

- (1) 「NetWare」グループの「プリントキュー」ショートカットをクリックします。
- (2) プリントキューを新規に作成する NetWare ファイルサーバを選択します。



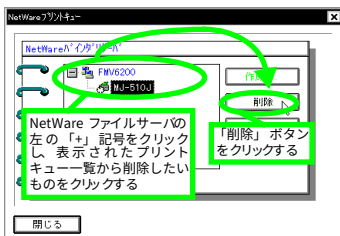
- (3) プリントキューを作成します。



(4) 定義を終了します。

11.9.1.2 プリントキューの削除

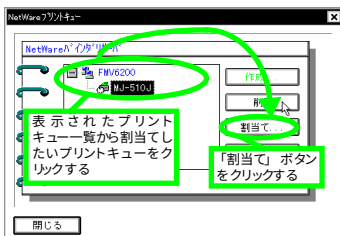
- (1) 「NetWare」グループの「プリントキュー」ショートカットをクリックします。
- (2) プリントキューを削除します。



11.9.1.3 プリントキューの割り当て

各 NetWare プリントキューに、NetWare プリントサーバのリスト、オペレータのリスト、ユーザのリストを割り当てることができます。

- (1) 「NetWare プリントキュー」ウィンドウの「割り当て」ボタンをクリックします。



(2) 選択したプリントキューに対する3つの割り当てを変更します。

- ・「NetWare プリントサーバを割り当てる」タブ

選択した NetWare ファイルサーバに、既に定義されている全ての NetWare プリントサーバのリストが左側に表示されます。右側には、選択した NetWare プリントキューと、現在割り当てられている NetWare プリントサーバのリストが表示されます。

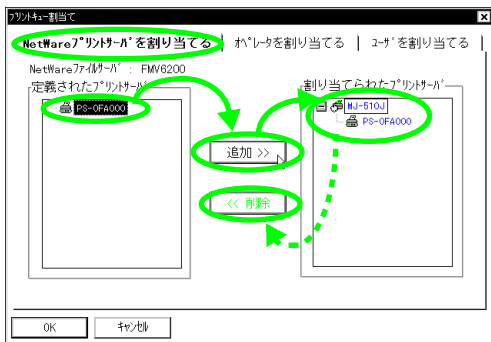


図 11.9.1.4 「NetWare プリントサーバを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントキューをサービスするように、NetWare プリントサーバまたは追加の NetWare プリントサーバを割り当てるには、左側に表示されている NetWare プリントサーバの名前または、プリントサーバアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントキューをサービスするように現在割り当てられている NetWare プリントサーバの解除を行うには、右側に表示されている NetWare プリントサーバの名前または、プリントサーバアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

・「オペレータを割り当てる」タブ

選択したプリントサーバのプリントパス情報で定義されている全てのユーザとグループのリストが、左側に表示されます。右側には、選択した NetWare プリントキューと、現在割り当てられているオペレータのリストが表示されます。

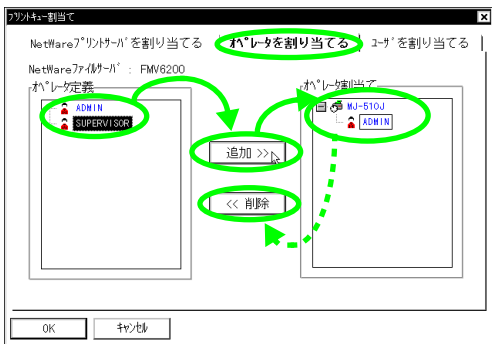


図 11.9.1.5 「オペレータを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントキューのオペレータとして、ユーザまたはグループあるいは追加のユーザまたはグループを認証するには、左側に表示されているユーザまたはグループ名、またはユーザアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントキューのオペレータとして現在認証されているユーザまたはグループの認証を解除するには、右側に表示されているオペレータ名またはユーザアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

・「ユーザを割り当てる」タブ

選択したプリントサーバのプリントパス情報で定義されている全てのユーザとグ

ループのリストが、左側に表示されます。右側には、選択した NetWare プリントキューと、現在割り当てられているユーザのリストが表示されます。

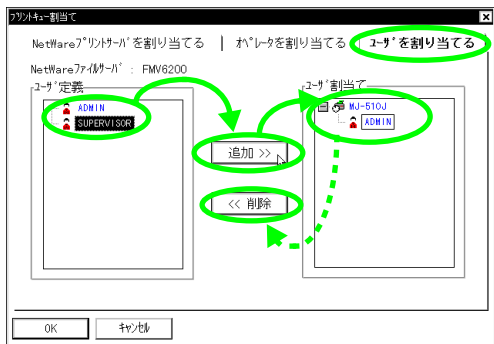


図 11.9.1.6 「ユーザを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントキューに対するプリントジョブをスプールするように、ユーザまたはグループ、あるいは追加のユーザまたはグループを有効にするには、左側に表示されているユーザまたはグループ名、またはユーザアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントキューに対するプリントジョブをスプールしないように、現在有効になっているユーザまたはグループを無効にするには、右側に表示されているユーザ名またはグループ名、またはユーザアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

11.9.2「プリンタ」の管理

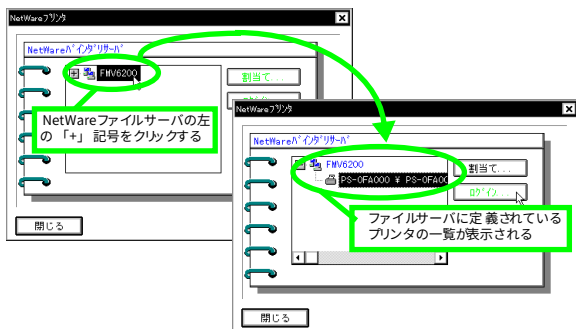
「NetWare」グループの「プリンタ」ウィンドウでは、全ての NetWare ファイルサーバのリストが表示され、ファイルサーバへのログイン、選択した NetWare プリントキューを割り当てる、または割り当てを解除することができます。

11.9.2.1 プリンタへのログイン

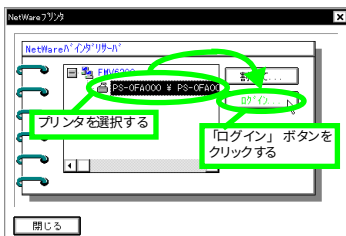
- (1) 「NetWare」グループの「プリンタ」ショートカットをクリックします。
- (2) NetWare ファイルサーバのリストが表示されます。



- (3) NetWare ファイルサーバ名の左の結合アイコン中の「+」はそのファイルサーバに定義されている NetWare プリンタのリストの結合アイコンです。結合アイコンをクリックするかダブルクリックすると、プリンタ情報を表示できます。



- (4) ログインするプリンタを選択し、ログインします。

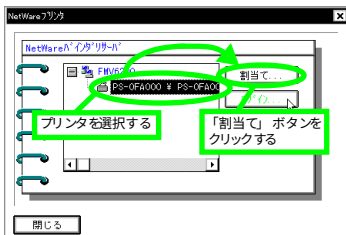


ファイルサーバにログインするまでは、プリンタリストは表示されません。プリンタリストには、各プリンタがアイコンとともに表示されます。

11.9.2.2 プリントキューの割り当て

各 NetWare プリンタに、NetWare プリントキューのリストと通知リストを割り当てることができます。

- (1) プリンタリストから割り当てを行うプリンタを選択し、「割り当て」ボタンをクリックします。



- (2) 選択したプリンタに対して、次の2種類の割り当てを行うことができます。

- 「NetWare プリントキューを割り当てる」タブ

選択した NetWare ファイルサーバのプリントパス情報で定義されている全ての NetWare プリントキューのリストが、左側に表示されます。右側には、選択した

NetWare プリントと、現在割り当てられている NetWare プリントキューのリストが表示されます。

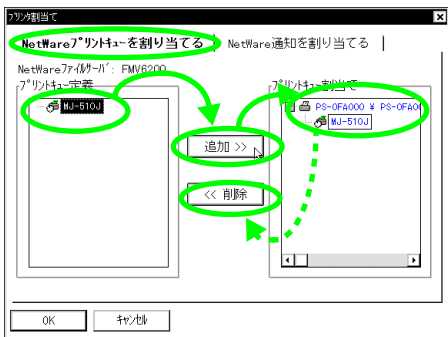


図 11.9.2.3 「NetWare プリントキューを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントに NetWare プリントキューまたは追加のプリントキューを割り当てるには、左側に表示されている NetWare プリントキューの名前または、プリントキューアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントに割り当てられている NetWare プリントキューを解除するには、右側に表示されている NetWare プリントキューの名前または、プリントキューアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

• 「NetWare 通知を割り当てる」タブ

選択したファイルサーバのプリントパス情報で定義されている全てのユーザ名とグループのリストが、左側に表示されます。右側には、選択した NetWare プリントと、その現在の通知リストが表示されます。



図 11.9.2.4 「NetWare 通知を割り当てる」 タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリンタの通知リストに、ユーザまたはグループ、あるいは追加のユーザまたはグループを割り当てるには、左側に表示されているそのユーザまたはグループ名の名前、またはそのアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare 通知リストに現在載っているユーザまたはグループ選択を解除するには、右側に表示されているユーザ名またはグループの名前、またはアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

11.9.3「プリントサーバ」の管理

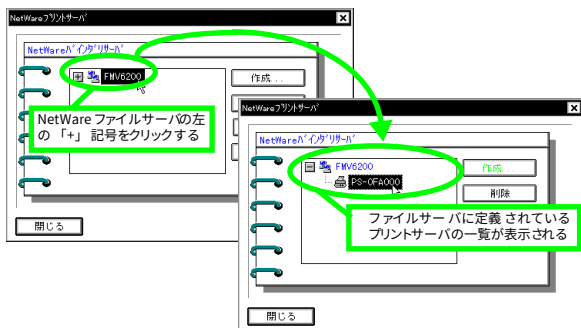
「NetWare」グループの「プリントサーバ」ウィンドウでは、全てのファイルサーバのリストが表示され、プリントサーバへのログイン、NetWare プリントサーバを定義、または削除することができます。選択した NetWare サーバに対して NetWare プリンタを割り当てる、または割り当てを解除することができます。

11.9.3.1 プリントサーバへのログイン

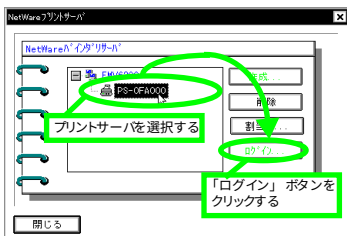
- (1) 「NetWare」グループの「プリントサーバ」ショートカットをクリックします。
- (2) NetWare ファイルサーバのリストが表示されます。



- (3) NetWare ファイルサーバ名の左の結合アイコン中の「+」はそのファイルサーバに定義されている NetWare プリントサーバのリストの結合アイコンです。結合アイコンをクリックするかダブルクリックすると、プリントサーバ情報を表示できます。



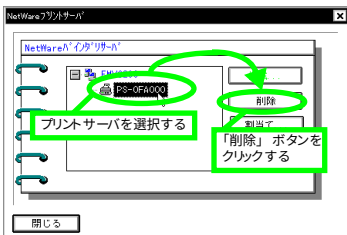
- (4) ログインするプリントサーバを選択し、ログインします。



- (5) 選択したファイルサーバのスーパーバイザとしてログイン名が認証されると、「作成」ボタン、「削除」ボタン、「割り当て」ボタンが有効になります。

11.9.3.2 プリントサーバの削除

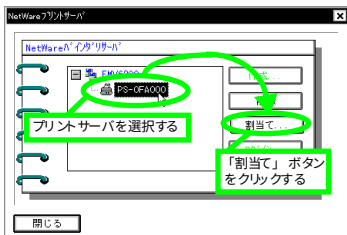
- (1) 上記の手順 (1) から (5) を実行し、プリントサーバにログインします。
- (2) プリントサーバを選択し、削除します。



11.9.3.3 プリンタ情報の割り当て

各 NetWare プリントサーバに、NetWare プリンタリスト、オペレータリスト、ユーザリストを割り当てることができます。

- (1) プリントサーバリストから割り当てを行うプリントサーバを選択し、「割り当て」ボタンをクリックします。



(2) 選択したプリントサーバに対して、次の3種類の割り当てを行うことができます。

- 「NetWare プリントを割り当てる」タブ

選択したプリントサーバに現在割り当てられているポートに接続されている NetWare プリンタのリストが右側に表示されます。

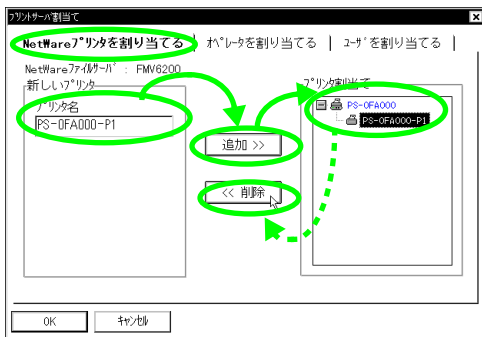


図 11.9.3.4 「NetWare プリントを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントサーバに割り当てられるように NetWare プリントを追加します。新しい NetWare プリント名を左側にある「プリンタ名」テキストボックスに入力してから、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントサーバに現在割り当てられている NetWare プリンタの解除と消去を行います。右側に表示されている NetWare プリンタの名前または、プリンタアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

- 「オペレータを割り当てる」タブ

選択したファイルサーバのプリントパス情報で定義されている全てのユーザ名とグループのリストが、左側に表示されます。右側には、選択した NetWare プリントサーバと、それに対して現在認証されているオペレータリストが表示されます。

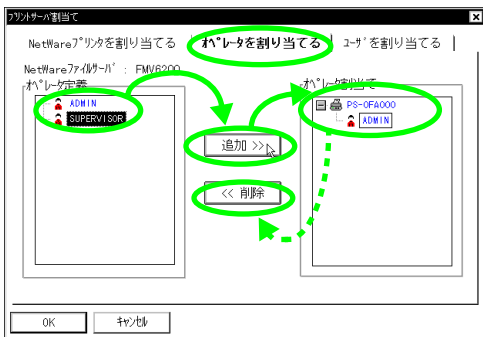


図 11.9.3.5 「オペレータを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントサーバのオペレータに、ユーザまたはグループ、あるいは追加のユーザまたはグループを割り当てるには、左側に表示されているそのユーザまたはグループ名の名前またはそのアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントサーバのオペレータとして現在認証されているユーザまたはグループ選択を解除するには、右側に表示されているユーザ名またはグループの名前またはアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

- 「ユーザを割り当てる」タブ

選択したファイルサーバのプリントパス情報で定義されている全てのユーザ名とグループのリストが、左側に表示されます。右側には、選択した NetWare プリントサーバと、それに現在割り当てられているユーザのリストが表示されます。

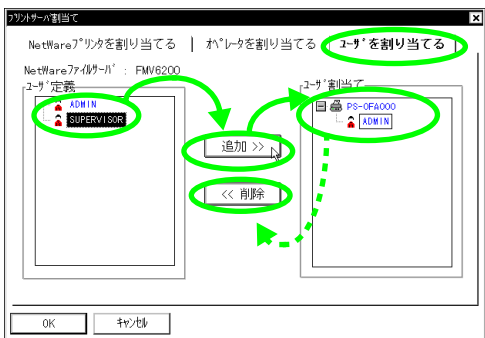


図 11.9.3.6 「ユーザを割り当てる」タブ

[追加ボタン]

選択した NetWare プリントサーバによるプリントを、ユーザまたはグループ、あるいは追加のユーザまたはグループに割り当てるには、左側に表示されているそのユーザまたはグループ名の名前またはそのアイコンをクリックして選択し、「追加」ボタンをクリックします。

[削除ボタン]

選択した NetWare プリントサーバによるプリントに現在有効になっているユーザまたはグループ選択を解除するには、右側に表示されているユーザ名またはグループの名前またはアイコンをクリックして選択し、「削除」ボタンをクリックします。

11.10 プリントサーバのリセット

ネットワークプリントサーバのリセットについて説明します。プリントサーバのリセット方法には、次の 2 通りがあります。状況に合わせて、どちらかを実行してください。

11.10.1 「リセット」

「ツール」グループの「リセット」ショートカットをクリックすると、選択したネットワークプリントサーバの再起動、選択したプリントサーバを中断、リストア、そして電源 ON するのと同じです。



但し、ネットワークプリントサーバのリセットは、プリントジョブの進行中は動作しません。



ネットワークプリントサーバのリセット後は、ネットワークプリントサーバの全ての環境設定データは、直前に「環境設定の保存」で保存した状態と同じになります。



ネットワークプリントサーバがエラー条件によって停止しない限り、「リセット」コマンドを実行する必要はありません。

11.10.2「ファクトリリセット」

「ツール」グループの「ファクトリリセット」ショートカットをクリックすると、選択したネットワークプリントサーバを再起動し、ネットワークプリントサーバのメモリの中の環境設定データを工場出荷時の値に戻します。「ファクトリリセット」を実行すると、ネットワークプリントサーバは、梱包から取り出して最初に電源を ON にしたときと同じ状態に戻ります。また、ネットワークプリントサーバのメモリの中の全ての環境設定データが失われます。



但し、ネットワークプリントサーバのリセットは、プリントジョブの進行中は動作しません。



通常、選択したネットワークプリントサーバを前の環境から全く異なる環境に移さない限り、「ファクトリリセット」を実行する必要はありません。

11.11本製品のファームウェアの更新

本製品の最新バージョンのファームウェアが提供された場合などには、ファームウェアを更新する必要があります。本製品のファームウェア更新手順について説明します。



最新バージョンのファームウェアの情報に関しては、corega のホームページをご確認ください。

11.11.1更新を実行するまえに

- (1) ファームウェアを更新する前に、現在のファームウェアのバックアップを確認してください。

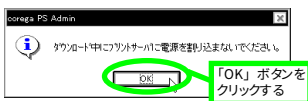
- (2) 更新に使用するファイルを入手します。ファームウェアの更新には、拡張子「.bin」(ファームウェアプログラムファイル)と「.dwl」の2種類のファイルが必要になります。
- 最新バージョンのファームウェアの情報、更新に必要なファイルの入手方法につきましては、corega のホームページをご確認ください。

11.11.2 本製品にファームウェアをダウンロードする

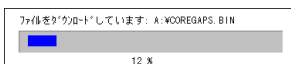
- (1) 「サーバ名一覧」から、ファームウェアを更新したいネットワークプリントサーバを選択します。
- (2) 「ツール」グループから「ファームウェアのダウンロード」ショートカットをクリックします。
- (3) ダウンロードしたいファームウェアプログラムの名前を指定します。



- (4) 確認ウィンドウで、「OK」ボタンをクリックします。ダウンロード中は、ネットワークプリントサーバに電源を割り込まないでください。



- (5) ダウンロードが開始されます。



- (6) ダウンロードが終了すると、メッセージが表示され、ネットワークプリントサーバは自動的に再起動します。



12トラブルシューティング

本ネットワークプリントサーバで問題が発生した場合の対処方法について説明します。

12.1「デバイス診断」を実行する

PS Admin のメインウィンドウで、「管理」グループの「デバイス診断」ショートカットをクリックすると、「デバイス診断」ウィンドウが表示されます。「デバイス診断」ウィンドウからは、ネットワークプリントサーバの設定とステータス項目を表示することができます。この表示を確認することで、ネットワークプリントサーバの設定に関する問題の多くは、解決することができます。

●環境設定タブ

「環境設定」タブでは、選択したネットワークプリントサーバの完全な説明および管理情報、各ポートと各プロトコルの環境設定データが表示されます。



図 12.1.0.1 「環境設定」タブ

●ステータスタブ

「ステータス」タブでは、ネットワークプリントサーバのステータス情報、各ポートと有効なプロトコルの詳細なデータを表示します。



図 12.1.0.2 「ステータス」タブ

●詳細タブ

「詳細」タブでは、各プロトコルの全ての動作に対応したパケットカウンタが表示されます。「リセット」、「ファクトリリセット」または「ファームウェアのダウンロード」のいずれかの方法でネットワークプリントサーバをリセットすると、全てのパケットカウンタが破棄（ゼロに戻る）されます。



図 12.1.0.3 「詳細」タブ

●ログ

「ログ」タブでは、致命的なエラー状態から生じるバケットの特性を、最大 16 個分記録し表示します。問題解決に有効です。

●「ファイルに保存」ボタン

ウィンドウの下部にある「ファイルに保存」ボタンをクリックすると、「デバイス診断」ウィンドウ上の全てのエントリをテキストファイルの登録します。この機能を利用して、ネットワークプリントサーバの設定の記録を保存できます。

A 付録

A.1 製品仕様

インタフェース	
プリンタインタフェース	セントロニクスアンフェノール 36 ピン
LAN インタフェース	RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX)
サポート規格	
	Fast PServer : IEEE 802.3 10BASE-T Ethernet IEEE 802.3u 100BASE-TX Fast Ethernet PServer : IEEE 802.3 10BASE-T Ethernet
電源部	
定格入力電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
最大消費電力	Fast PServer : 2.5W PServer : 1.3W
発熱量	Fast PServer : 最大 2.15kcal/h PServer : 最大 1.12kcal/h
AC アダプター	Fast PServer : DC5V、1.6A PServer : DC7.5V、400mA
環境条件	
保管時温度	-10 ~ 50 °C
保管時湿度	10 ~ 90% (ただし、結露なきこと)
動作時温度	0 ~ 40 °C
動作時湿度	10 ~ 80% (ただし、結露なきこと)
外形寸法	
	55(W) × 88(D) mm (H) Front End 19mm , Back End 24mm
重量	
	65.0g (AC アダプター含まず)
メモリー容量	
	512Kbytes
サポートプロトコル	
	IPX/SPX、NetBEUI/SMB、TCP/IP、Apple/EtherTalk
対応 OS	
	Windows 98/95、Windows NT4.0、MacOS7.6 以降、UNIX
取得承認	
EMI 規格	VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



付属の「corega PS Admin Program」は、Windows98/95 または Windows NT4.0 のみの対応となります。

注意

A.2 ネットワークインターフェース

10BASE-T インターフェース（MDI）は、RJ-45 型と呼ばれるモジュージャックが使用されています。

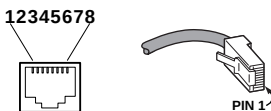


図 A.2.1 RJ-45 モジュージャック、プラグ

ピン番号	信号（MDIポート）
1	送信データ（+）
2	送信データ（-）
3	受信データ（+）
4	未使用
5	未使用
6	受信データ（-）
7	未使用
8	未使用

図 A.2.2 信号線名

A.3 プリンタインターフェース

プリンタポートには、IEEE 1283 standard bidirectional parallel interface with 36-pin connectorが使用されています。

パラレルポートのコネクタピン配列は次のとおりです。

ピン番号	信号名	ソース
1	nStrobe	H
2	Data 1	Bi-Di
3	Data 2	Bi-Di
4	Data 3	Bi-Di
5	Data 4	Bi-Di
6	Data 5	Bi-Di
7	Data 6	Bi-Di
8	Data 7	Bi-Di
9	Data 8	Bi-Di
10	nAck	P
11	Busy	P
12	PError	P
13	Select	P
14	nAutoFd	H
15	Not Defined	
16	Logic Gnd	
17	Chassis Gnd	
18	Peripheral Logic High	P
19	Signal Ground (nStrobe)	
20	Signal Ground (Data 1)	
21	Signal Ground (Data 2)	
22	Signal Ground (Data 3)	
23	Signal Ground (Data 4)	
24	Signal Ground (Data 5)	
25	Signal Ground (Data 6)	
26	Signal Ground (Data 7)	
27	Signal Ground (Data 8)	
28	Signal Ground (PError, Select, nAck)	
29	Signal Ground (Busy, nFault)	
30	Signal Ground (nAutoFd, nSelectIn, nInit)	
31	nInit	H
32	nFault	P
33	Not Defined	
34	Not Defined	
35	Not Defined	
36	nSelectIn	H

表 A.3.0.1 コネクタピン配列

A.4 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の（unique、ユニークな）アドレスです。

MAC アドレスは、下記の 6 バイト（48 ビット）によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています（表記は全て 16 進数）。

00	90	99	xx	xx	xx
ベンダー ID			通し番号		

- ベンダー ID

LAN ベンダー（LAN 用機器を製造しているメーカー）が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。

- 通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたものです。この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。



MAC アドレス（マックアドレスと読みます）は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別べつのものです。

B ネットワークの設定

B.1 Windows 98/95 でプロトコルを追加する

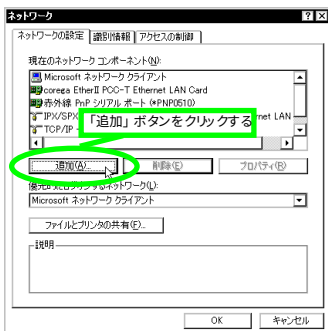


次の手順では、Windows98 で「NetBEUI」プロトコルを利用する場合の手順について、説明しています。

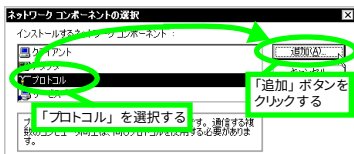
- (1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし、「ネットワークの設定」タブを表示します。



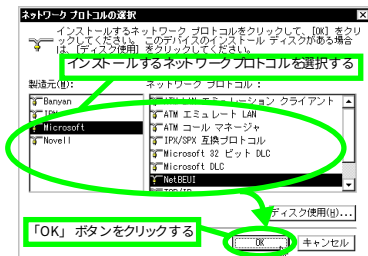
- (2) 「追加」ボタンをクリックします。



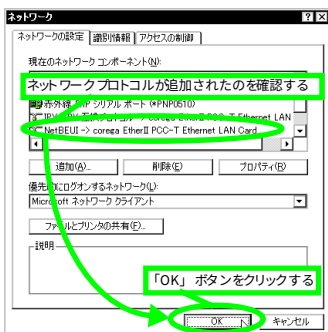
- (3) 「プロトコル」を選択します。



- (4) インストールするネットワークプロトコルをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



- (5) プロトコルが追加されていることを確認します。



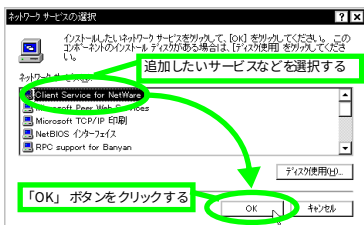
- (6) パソコンを再起動します。

B.2 WindowsNT で「サービス」または「プロトコル」を追加する

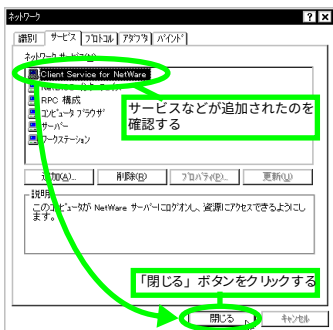
- (1) 「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ネットワーク」アイコンをクリックし「サービス」タブ(または「プロトコル」タブ)を表示し「追加」ボタンをクリックします。



(2) 追加したいサービス（またはプロトコル）を選択します。



(3) 選択したネットワークサービス（またはプロトコル）が追加されたことを確認します。



(4) パソコンを再起動します。

C 保証について

無条件で製品を保証するというものではありません。正しい使用法で使用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となります。詳しくは、本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。また、本製品（ドライバーディスクは除く）の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

D 修理について

故障と思われる現象が発生した場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しくされているかを確認してください。現象が改善されない場合は、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書を添付し、弊社サポートセンター宛に製品をお送りください。

製品を送られる場合は、次の点にご注意ください。

- ・弊社サポートセンターへ製品を送られる場合の送料につきましては、送り主様のご負担とさせていただきます。
なお輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。
- ・修理期間は、製品到着後 7 日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先 〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
株式会社コレガ サポートセンター宛

E ユーザーサポートについて

障害回避などのユーザーサポートは、巻末の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付していただくほうが、電話による問い合わせよりも遙かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: 045-476-6268
月～金（祝・祭日を除く）10:00-12:00、13:00-17:00

Fax: 045-476-6294
年中無休 24 時間

なお、電子メールによるサポートは行っておりませんので、ご了承ください。

E.1 corega 製品の情報を知りたいときには

■ corega のホームページにアクセスしてください!

<http://www.corega.co.jp/>

corega ホームページにアクセスすれば、商品の詳細や PC 動作検証リストはもちろん、FAQ などコレガに関するすべての情報が入手できます。ダイレクトショッピングからドライバーのダウンロードまで、便利なサービスも満載で、何でもおまかせのホームページです。

■ corega Net-News を購読しませんか?

<http://www.corega.co.jp/service.news.htm/>

corega Net-News は、コレガ社がお届けするメール配信サービスです。新製品情報やキャンペーン、プレゼント情報など、耳よりなニュースをお届けします。ホームページのアップデート情報もお知らせしますので大変便利です。

上記のアドレスでどなたでもご登録いただけますので、是非、ご登録ください。

E.2 調査依頼書のご記入のお願い

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

■ハードウェアとソフトウェア

- * 本製品上に貼られたラベルに記入されている下記のコピー番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) を調査依頼書に記入してください。



- * ご使用になっているソフトウェアの種類／バージョン (Ver.) / シリアル番号を記入してください。それらは、ドライバディスクのラベル上に記入されています。
- * 他社のインターフェースボードやユーティリティをご使用の場合は全てご記入ください。

- * 接続しているサーバーの機種とその環境も可能な限りご記入ください。

■お問い合わせ内容について

- * どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。
- * エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトしたものなどを添付してください。
- * 障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。

■ネットワーク構成について

- * ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- * 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

F おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・ 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Windows、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1999年 12月

Rev.A 初版

調査依頼書 (corega Fast PServer/PServer 1/2)

年 月 日

一般事項

1. 会社名（個人名）：フリガナ
部署名：ご担当者：
ご連絡先住所：〒
TEL: () FAX: ()
2. 購入先：購入年月日：
購入先担当者：購入先（TEL）： ()

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のハードウェア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名：corega ☐ Fast PServer ☐ PServer



MAC アドレス _____
PS Admin バージョン Ver. _____ pl _____
ファームウェア Ver. _____

2. ご使用のプリンタ情報
メーカー名：
型式：
3. ご使用のサーバー機種（UNIX、NetWare、Windows NT など）プロトコル
コンピュータのメーカー名／機種：
OS とバージョン：
プロトコル：

お問い合わせ内容

- ☐別紙あり ☐別紙なし
☐設置中に起こっている障害 ☐設置後運用中に起こっている障害

調査依頼書 (corega Fast PServer/PServer 2/2)

年 月 日

ネットワーク構成

☐別紙あり

☐別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。

・プリントサーバ本体：製品保証書に記載の“保証期間”で無償保証とします。

(但し、本規定の他の条項に準じます。)

・ACアダプター：一年保証 ・本体付属品（ディスク）：3ヶ月間保証

■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。

■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。(ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。)

1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。

■本製品添付のドライバーソフトウェアが他社の提供するハードウェアまたは、アプリケーション・ソフトと共有できるという動作保証および、使用によるその他の損害についての保証は、行いません。

■本ハードウェアが他社の提供するソフトウェアまたは、アプリケーション・ソフトと共有できるという動作保証および、使用によるその他の損害についての保証は行いません。

■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。

■製品保証書は、日本国内のみで有効です。

■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書 (1年保証)

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製品名 corega Fast PServer/PServer

シリアル番号
(S/N)

ご購入日

製品保証に関するお問い合わせ先

coregaサポートセンター

TEL : 045-476-6268 FAX : 045-476-6294

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-19-20

受け付け時間：10:00～12:00/13:00～17:00

月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印が無い場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。

※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。